

令和2年9月30日 公告

新高南住宅1号館建設工事

○設計図書の一部に誤りがありました。下記の正誤表をご確認ください。

正誤表

訂正箇所	誤	正
図面No.202 杭 標準図 必要溶接脚長表の修正	図示のとおり	図示のとおり
図面No.203 杭伏図・基礎・基礎梁伏図 基礎・基礎梁伏図の修正	図示のとおり	図示のとおり
図面No.212 杭リスト 杭断面図、杭リスト中のD部長さの一部修正	図示のとおり	図示のとおり
図面No.216 柱リスト(2) 柱リスト C12、C13断面の修正	図示のとおり	図示のとおり
図面No.218 梁リスト(2) 梁リスト G4Aの修正	図示のとおり	図示のとおり
図面No.224 雑 詳細図 床下換気口B(点検兼用床下換気口)立上り詳細図の修正 避難ハッチ開口補強詳細図の修正	図示のとおり	図示のとおり
図面No.228 柱梁芯伏図 梁位置の修正	図示のとおり	図示のとおり

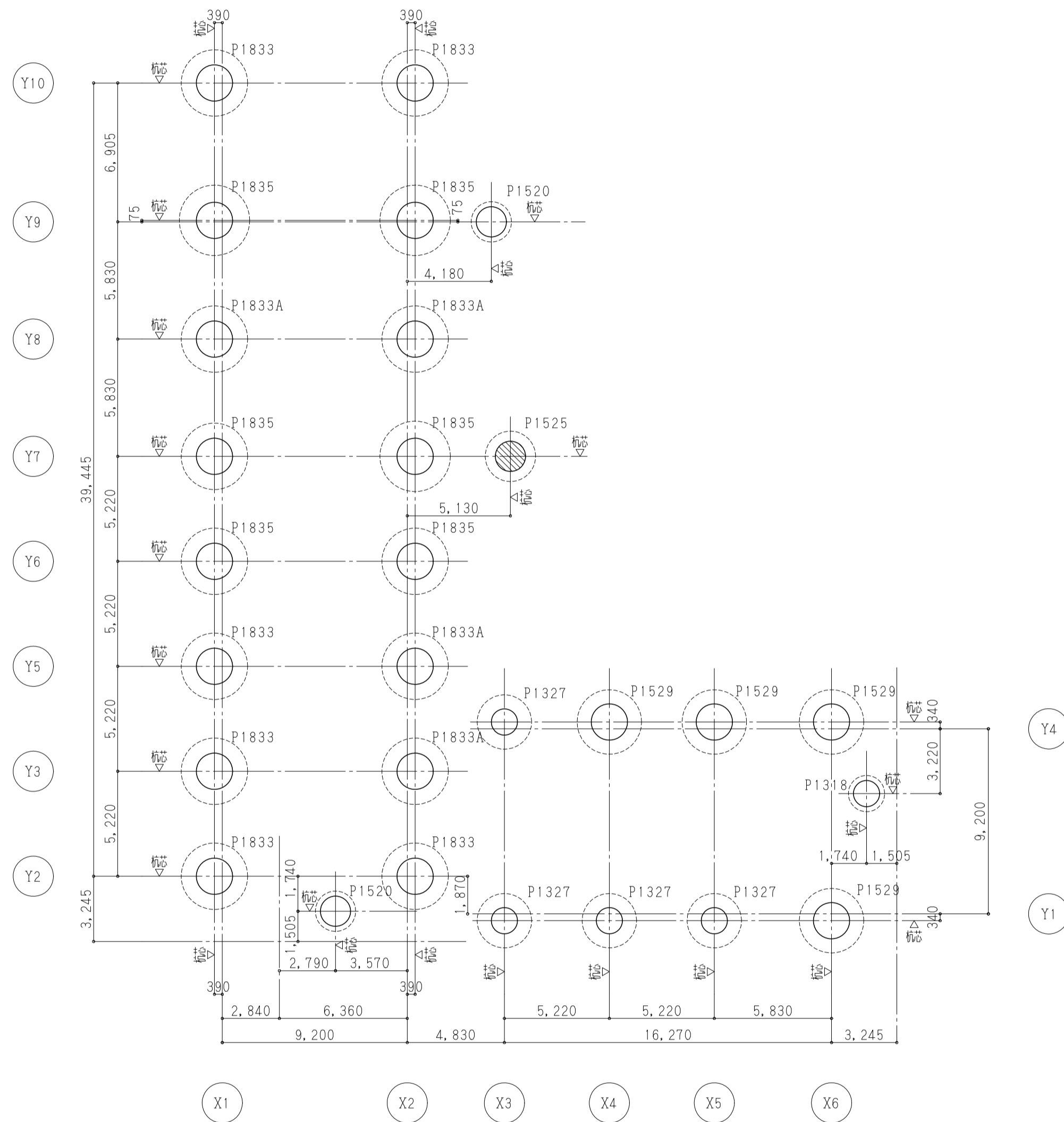
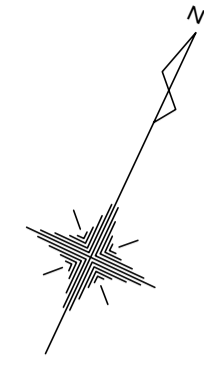
正誤表

訂正箇所	誤	正
図面No.229 X 1 通り架構配筋図 図面No.230 Y 1 通り架構配筋図 桁方向梁外端部の定着に関する修正	図示のとおり	図示のとおり
設計書 P.3 杭実長の一部修正	図示のとおり	図示のとおり

○数量内訳書の一部に表記誤りがありました。下記の正誤表をご確認ください。

正誤表

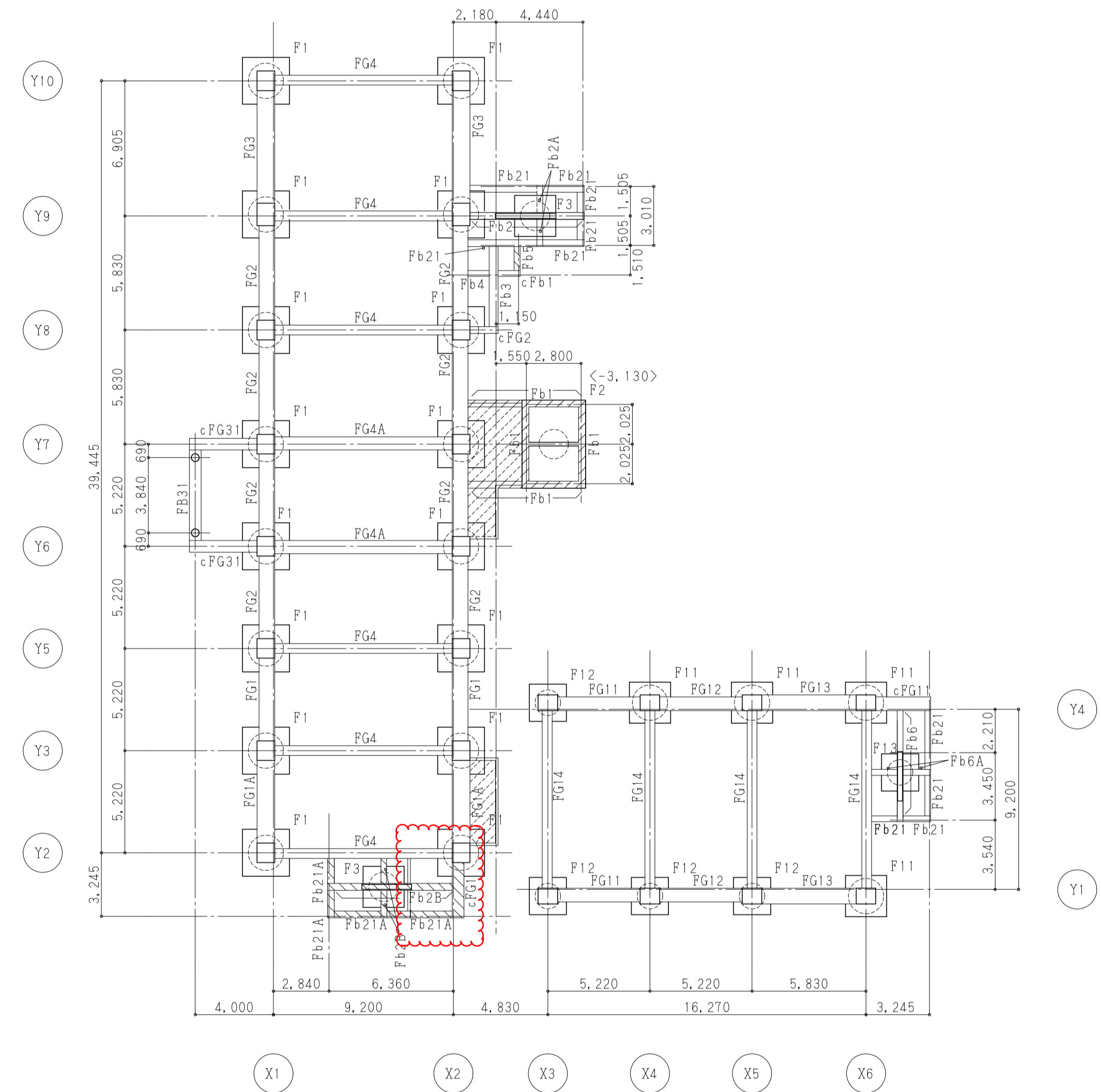
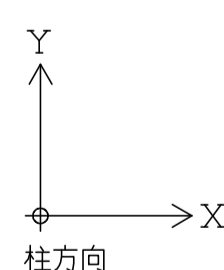
訂正箇所	誤	正
直接工事費 細目別内訳 20 主体工事 鉄筋工事単位欄 1行目、2行目	kg	t



杭伏図 1/200

特記なき限り
 ・ 杭先端レベルはZ0-2,600とする。
 ・ の杭先端レベルはZ0-2,830とする。

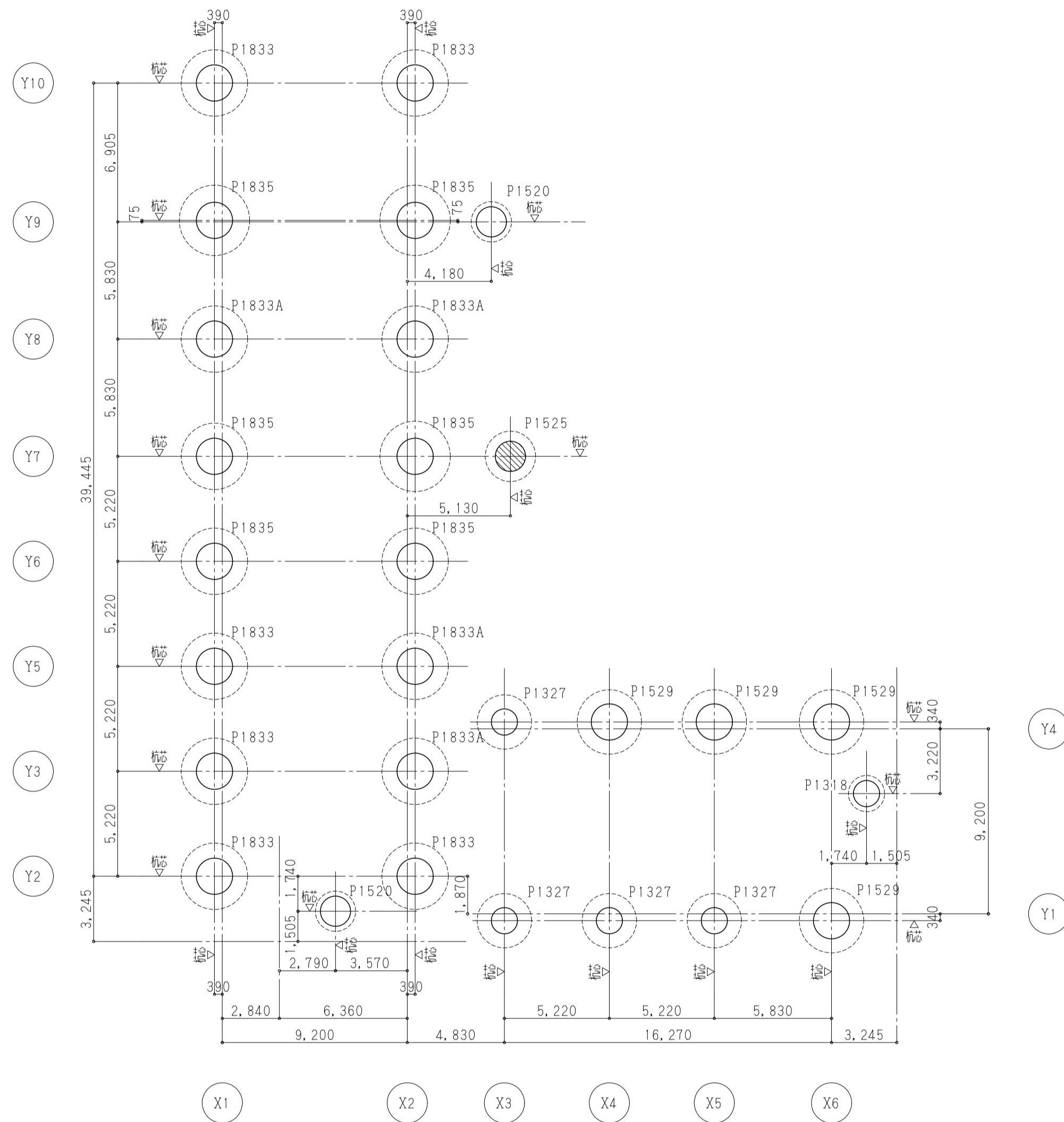
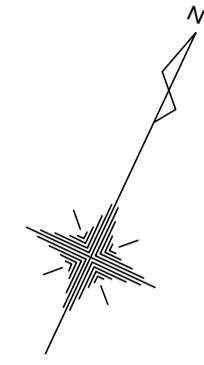
伏図共通事項
 特記なき限り
 ・ 廊下・バルコニー側壁はW12とし、壁配筋詳細図参照。
 ・ 大梁レベルは軸組図参照。
 ・ 床版レベルはZn±0とする。
 ・ 小梁レベルは床版と同一とする。
 ・ は増打を示す。
 ・ 床着打の範囲は意匠図参照。
 ・ 構造スリットは軸組図による。
 ・ 設備スリーブ位置は意匠図参照。



基礎・基礎梁伏図 1/200

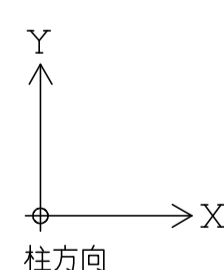
特記なき限り
 ・ 基礎梁先端はZ0±0とし、梁間方向梁先端はZ0-400とする。
 ・ は、基礎梁先端Z0-550の範囲を示す。
 ・ は、基礎小梁先端Z0-450の範囲を示す。
 ・ その他は軸組図および、詳細図参照のこと。
 ・ 基礎底はZ0-2900とする。
 ・ < >は、Z0からの基礎下端を示す。
 ・ Y2~Y10通、X3~X6通間の住戸、エントランス下部および、
 ・ は、スラブ下ピットを示し、土下端は、原則Z1-1,000とし、詳細は意匠図参照。
 ・ スラブ下ピット部分壁はW15とし、その下部はZ1-1,200とする。
 ・ PS壁の下端レベルはZ1-1,200とする。

名称	新高南住宅1号館建設工事			原図番号	A.7
図面名称	杭伏図・基礎・基礎梁伏図	製図	令和2年8月	図面番号	No.203 (14枚の内)
標準図番号	H17-H22-H23-構造	構造			
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)			株式会社真鍋建築設計事務所		

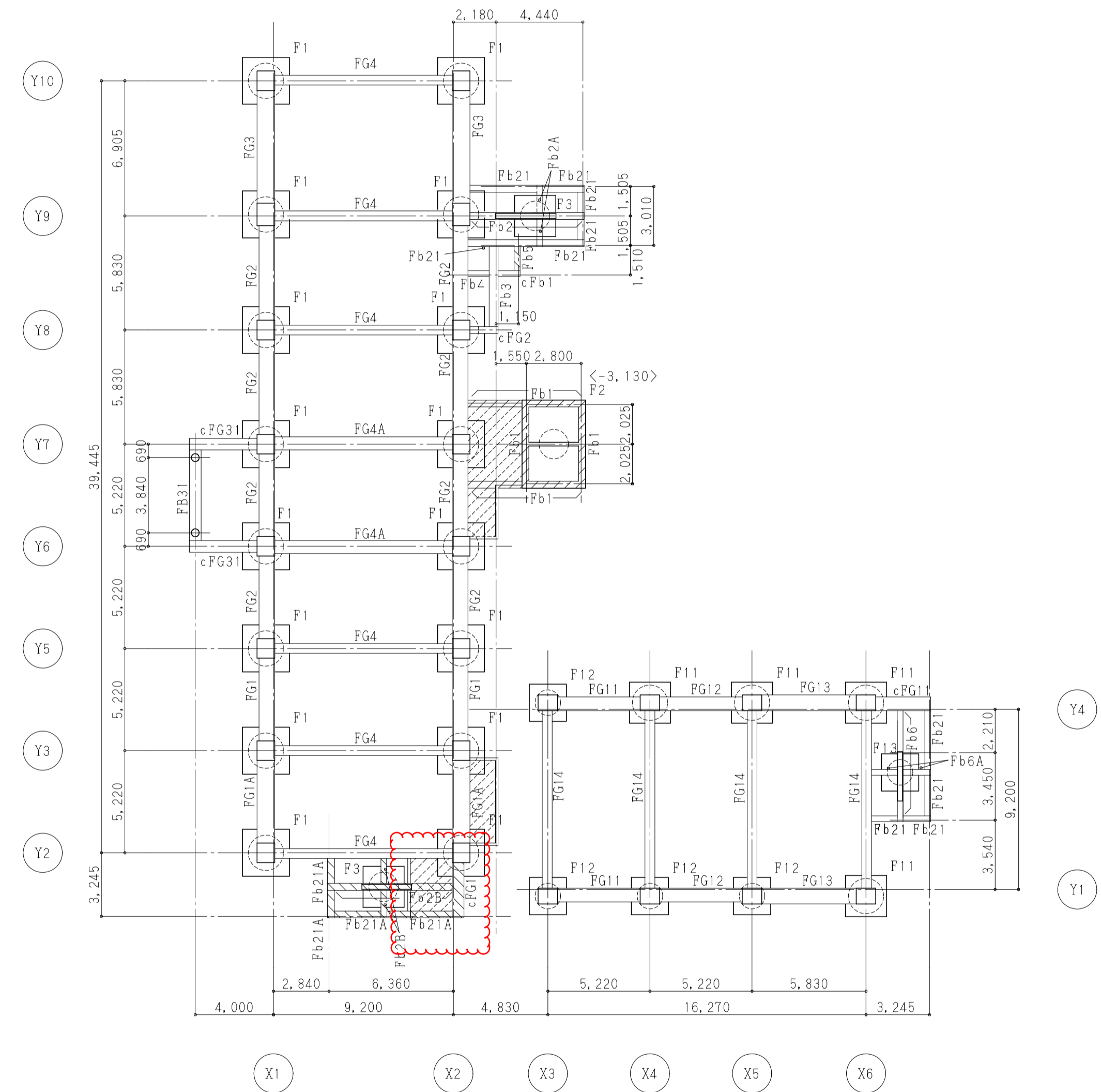


杭伏図 1/200

特記なき限り
 ・ 杭先端レベルはZ0-2,600とする。
 ・ の杭先端レベルはZ0-2,830とする。



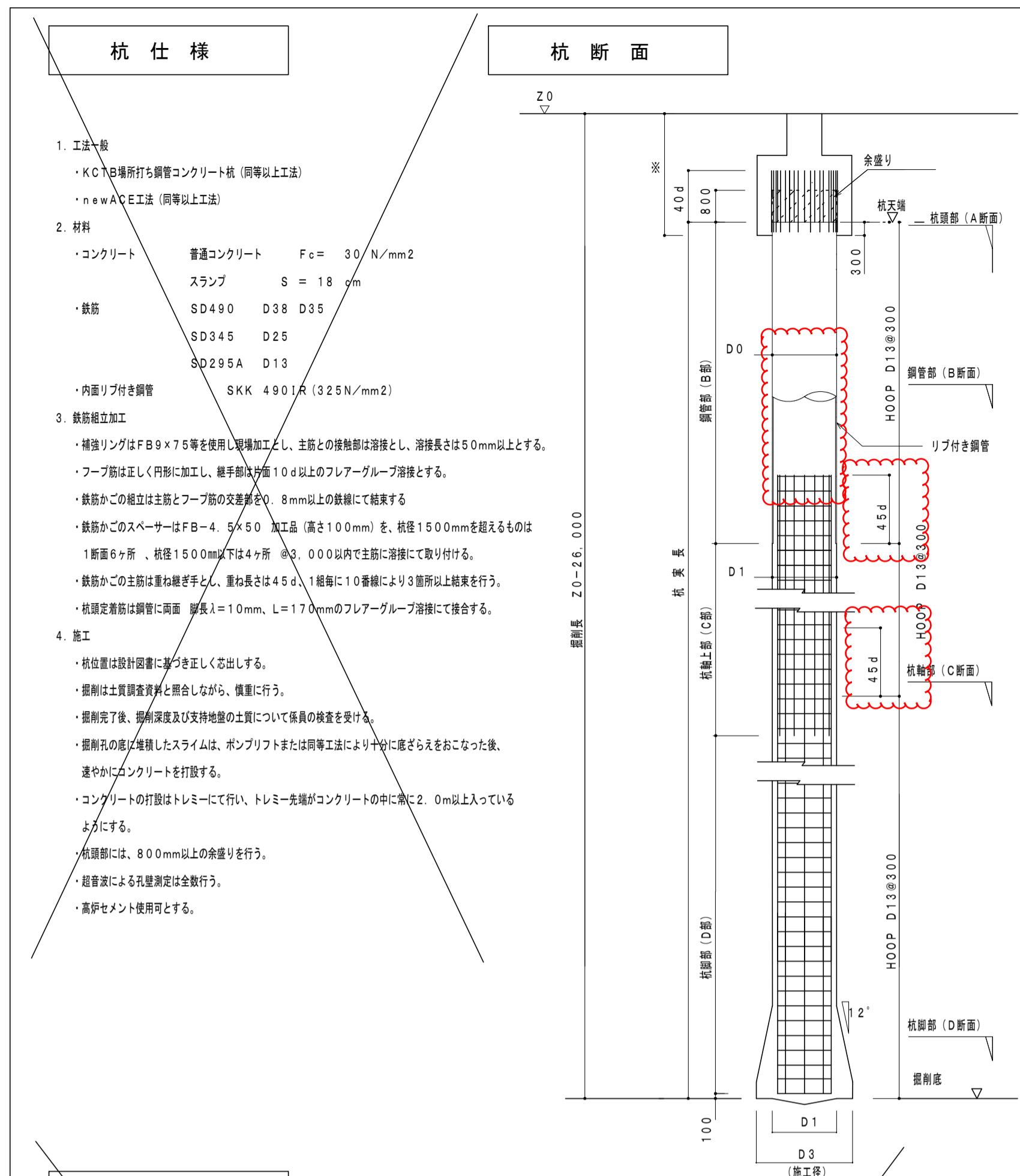
伏図共通事項
 特記なき限り
 ・ 廊下・バルコニー側壁はW12とし、壁配筋詳細図参照。
 ・ 大梁レベルは軸組図参照。
 ・ 床版レベルはZn±0とする。
 ・ 小梁レベルは床版と同一とする。
 ・ は増打を示す。
 ・ 床着打の範囲は意匠図参照。
 ・ 構造スリットは軸組図による。
 ・ 設備スリーブ位置は意匠図参照。



基礎・基礎梁伏図 1/200

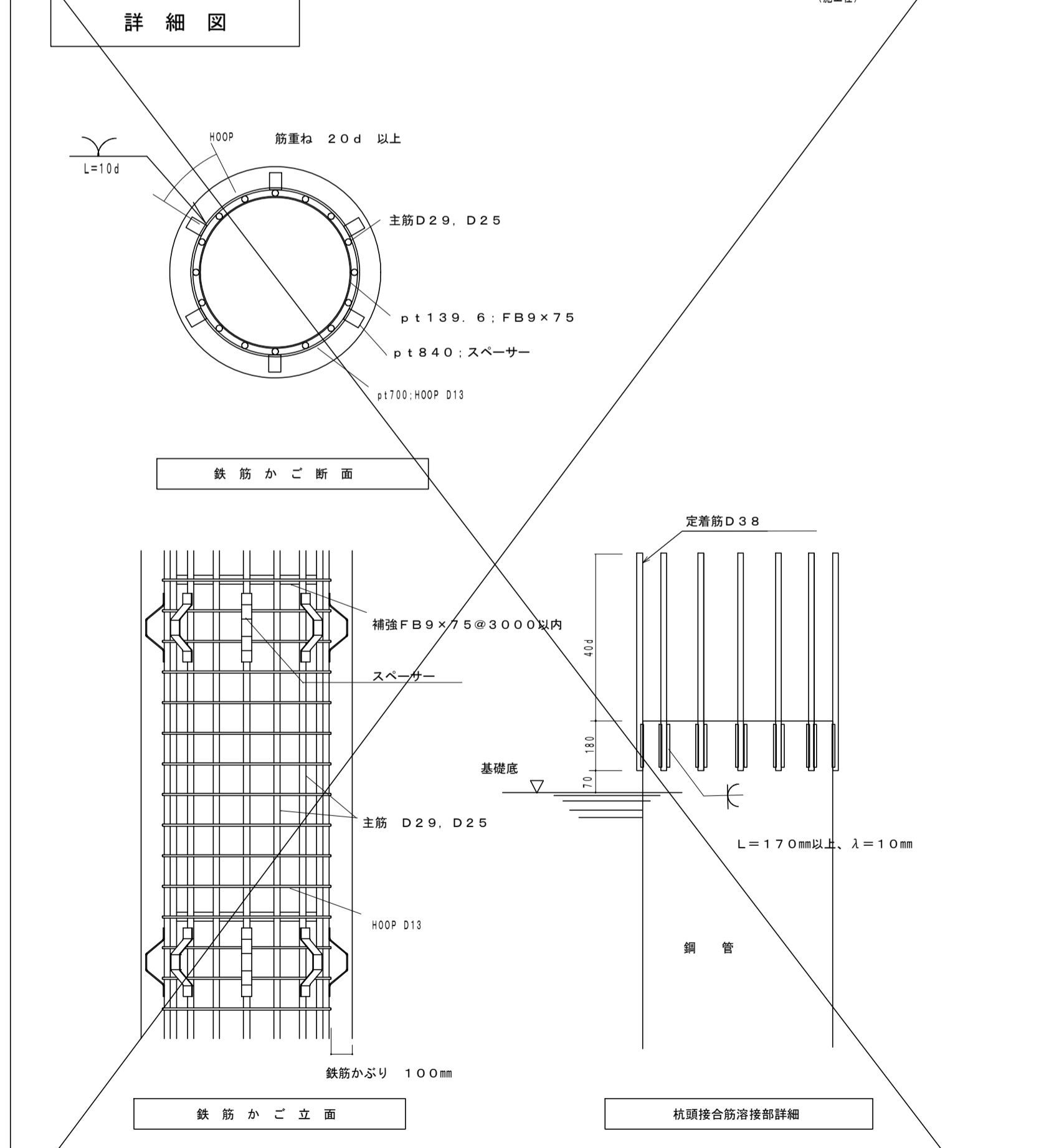
特記なき限り
 ・ 基礎梁先端はZ0±0とし、梁間方向梁先端はZ0-400とする。
 ・ は、基礎梁先端Z0-550の範囲を示す。
 ・ は、基礎小梁先端Z0-450の範囲を示す。
 ・ その他は軸組図および、詳細図参照のこと。
 ・ 基礎底はZ0-2900とする。
 ・ < >は、Z0からの基礎下端を示す。
 ・ Y2~Y10通、X3~X6通間の住戸、エントランス下部および、
 ・ は、スラブ下ピットを示し、土端は、原則Z1-1,000とし、詳細は意匠図参照。
 ・ スラブ下ピット部分壁はW15とし、その下部はZ1-1,200とする。
 ・ PS壁の下端レベルはZ1-1,200とする。

名称	新高南住宅1号館建設工事			原図番号	A.7
図面名称	杭伏図・基礎・基礎梁伏図	製図	令和2年8月	図面番号	No.203 (14枚の内)
標準図番号	H17-H22-H23-構造	構造			
大阪市都市整備局			株式会社真鍋建築設計事務所		
住宅部建設課 (建設設計グループ)					

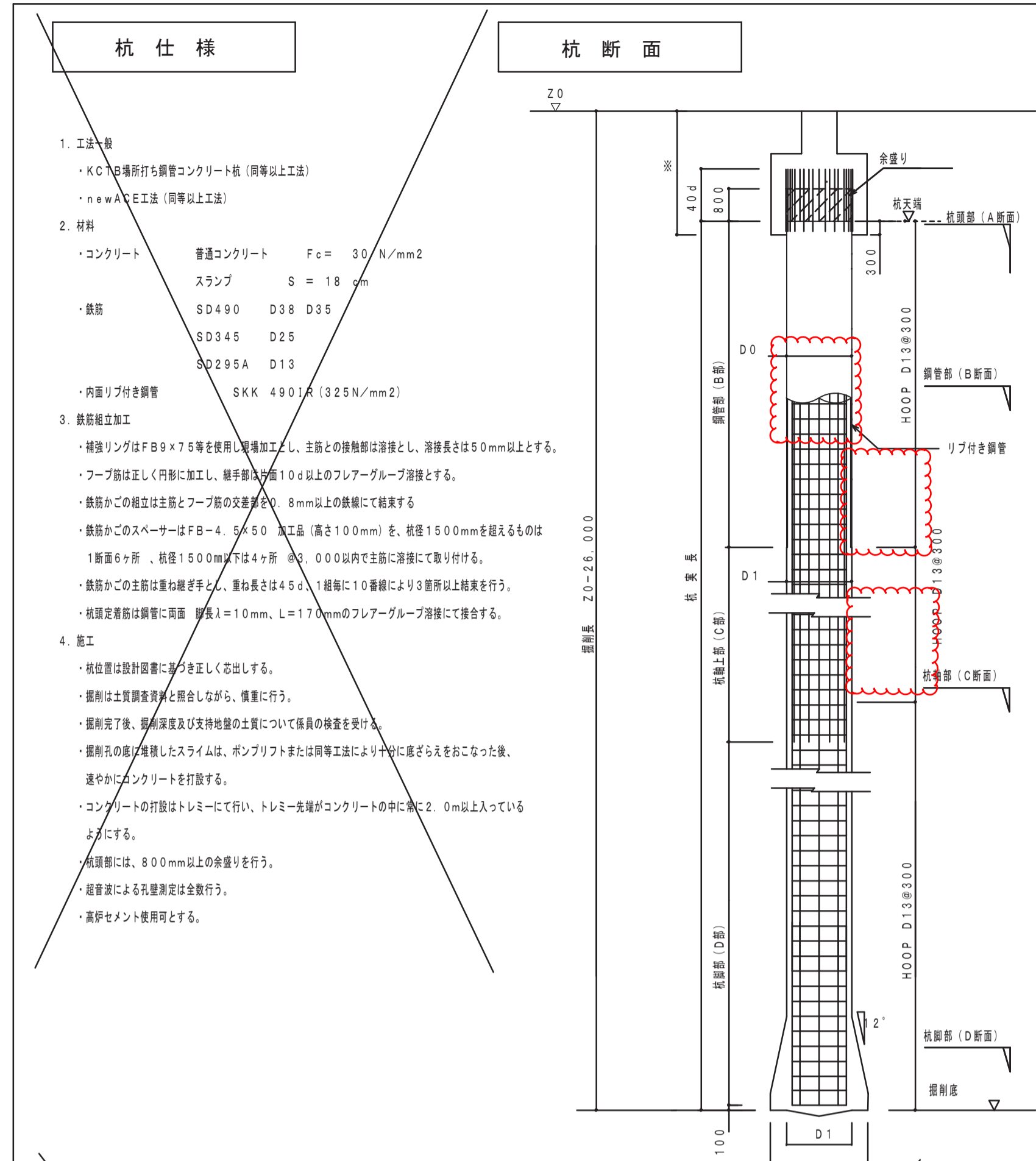


杭リスト S=1/60 (拡底径D3は施工)

杭記号	P1835	P1833 (P1833A) ※ () 内はP1833Aを示す。	P1525	P1520	P1529	P1327	P1318	
杭 径	頭部径 D0	1,800	1,800	1,500	1,500	1,500	1,300	1,300
	軸部径 D1	1,800	1,800	1,500	1,500	1,500	1,300	1,300
	拡底径 D3	3,500	3,300	2,500	2,000	2,900	2,700	1,800
杭頭定着筋 (鋼管外周)		30-D38	30-D38	32-D38	32-D38	30-D38	28-D38	22-D38
杭 頭 部 (A部)	内部配筋	24-D38	28-D38 (24-D38)	20-D38	20-D38	12-D35	12-D35	12-D35
	A部断面							
鋼 管 部 (B部)	鋼管径・板厚	φ1,800 t=12mm	φ1,800 t=12mm	φ1,500 t=14mm	φ1,500 t=14mm	φ1,500 t=12mm	φ1,300 t=12mm	φ1,300 t=12mm
	B部長さ	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	6,400	6,400
	B部断面							
	B部主筋	24-D38	28-D38 (24-D38)	20-D38	20-D38	12-D35	12-D35	8-D35
	HOOP	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300
	C部長さ	2,500	3,500 (2,500)	2,250	2,500	1,000	1,000	4,000
杭 軸 上 部 (C部)	C部断面							
	C部主筋	24-D38	28-D38 (24-D38)	12-D38	12-D38	12-D35	12-D35	8-D35
	HOOP	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300
杭 脚 部 (D部)	D部長さ	13,500	12,500 (13,500)	13,420	13,500	15,000	16,000	13,000
	D部断面							
	D部主筋	12-D38	16-D38 (12-D38)	12-D38	12-D38	8-D35	8-D35	8-D35
	HOOP	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300
本 数	6	6 (4)	1	2	4	4	1	
長期耐力 (kN/本)	11,000	9,700	5,400	3,300	7,500	6,500	2,700	

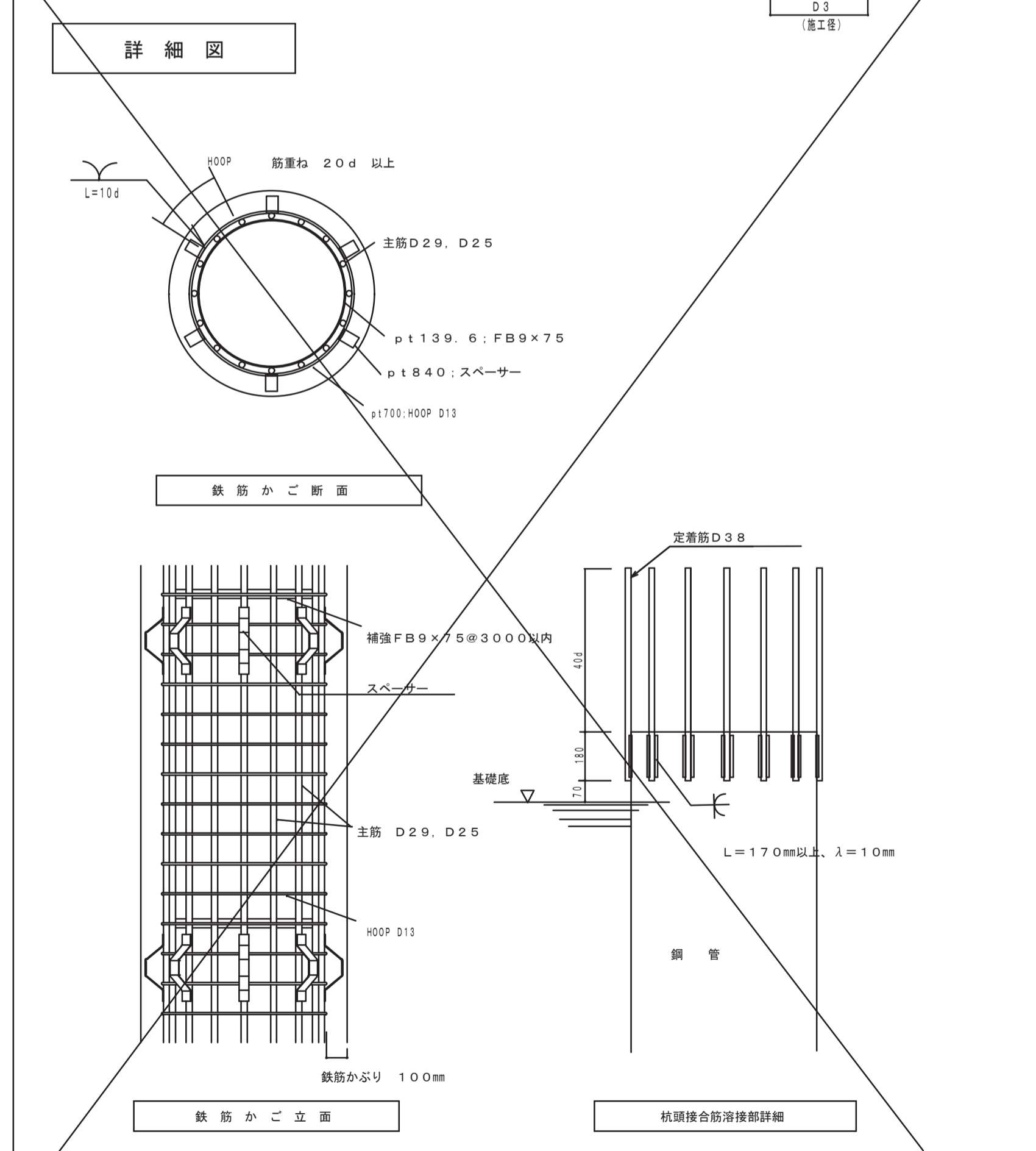


名 称	新高南住宅1号館建設工事	図面番号	製 図	令和 2年 8月	
図面名称	杭リスト	標準図番号	H17-022-025-構造	図面番号	No.212 (24枚の内)
大阪市都市整備局			株式会社真鍋建築設計事務所		
住宅部建設課 (建設設計グループ)					



杭リスト S=1/60 (拡底径D3は施工後)

杭記号	P1835	P1833 (P1833A) ※ () 内はP1833Aを示す。	P1525	P1520	P1529	P1327	P1318
杭 径	頭部径 D0	1,800	1,800	1,500	1,500	1,500	1,300
	軸部径 D1	1,800	1,800	1,500	1,500	1,300	1,300
	拡底径 D3	3,500	3,300	2,500	2,000	2,900	1,800
杭頭定着筋 (鋼管外周)		30-D38	30-D38	32-D38	32-D38	30-D38	28-D38
杭 頭 部 (A 部)	内部配筋	24-D38	28-D38 (24-D38)	20-D38	20-D38	12-D35	12-D35
	A部断面						
鋼 管 部 (B 部)	鋼管径・板厚	φ1,800 t=12mm	φ1,800 t=12mm	φ1,500 t=14mm	φ1,500 t=14mm	φ1,500 t=12mm	φ1,300 t=12mm
	B部長さ	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	6,400
	B部断面						
	B部主筋	24-D38	28-D38 (24-D38)	20-D38	20-D38	12-D35	12-D35
	HOOP	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300
	C部長さ	2,500	3,500 (2,500)	2,250	2,500	1,000	1,000
杭 軸 上 部 (C 部)	C部断面						
	C部主筋	24-D38	28-D38 (24-D38)	12-D38	12-D38	12-D35	12-D35
杭 脚 部 (D 部)	HOOP	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300
	D部長さ	13,400	12,400 (13,400)	13,420	13,400	14,900	15,900
	D部断面						
	D部主筋	12-D38	16-D38 (12-D38)	12-D38	12-D38	8-D35	8-D35
	HOOP	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300	D13@300
	本 数	6	6 (4)	1	2	4	4
長期耐力 (kN/本)	11,000	9,700	5,400	3,300	7,500	6,500	



名 称	新高南住宅1号館建設工事	図面番号	A.1
図面名称	杭リスト	製 図	令和 2年 8月
標準図番号	H17-H22-H23-構造	図面番号	No.212 (24枚の内)
大阪南都市整備局		株式会社真鍋建築設計事務所	
住宅部建設課 (建設設計グループ)			

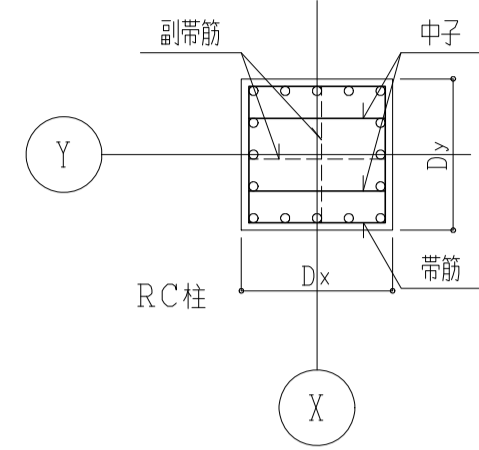
柱リスト(2) 1/50

特記なき限り フープ □-D13-@100 S記号はKSS785同等以上とする。

符号	C11	C12	C13	
7	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
6	断面			
	B x D	1000 x 700	1000 x 700	1000 x 700
	主筋	10-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
5	断面			
	B x D	1000 x 700	1000 x 700	1000 x 700
	主筋	10-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
4	断面			
	B x D	1000 x 700	1000 x 700	1000 x 700
	主筋	10-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @90	目 - D13 @100	目 - D13 @100
3	断面			
	B x D	1000 x 800	1000 x 800	1000 x 800
	主筋	10-D29 + 4-D19	10-D29 + 4-D19	10-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @85	目 - S13 @100	目 - S13 @100
2	断面			
	B x D	1000 x 800	1000 x 800	1000 x 800
	主筋	14-D29 + 4-D19	14-D29 + 4-D19	14-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @85	目 - S13 @100	目 - S13 @100
1	断面			
	B x D	1000 x 800	1000 x 800	1000 x 800
	主筋	14-D29 + 4-D19	14-D29 + 4-D19	16-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @85	目 - S13 @100	目 - S13 @100

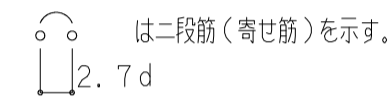
符号	C11	C12	C13	
12	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19
	帯筋	□ - D13 @100	□ - D13 @100	□ - D13 @100
11	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19
	帯筋	目 - D13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
10	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19
	帯筋	目 - D13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
9	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
8	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100

共通事項

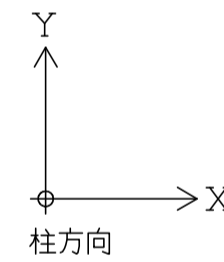


註)特記なき限り下記による。

- ・破線 は副帯筋を示し、D10-@600とする。但し、1階~2階の柱はD10-@200とする。
- ・鉄筋 D16以下 SD295A D19~D25 SD345 D29 SD390



- ・帯筋は中子共、溶接委閉型とする。但し、P1、P21は除く。
- ・帯筋は中子共、D13はSD295Aとする。S13は高強度せん断補強筋KSS785同等以上とする。なお、同両品とする場合には監督員および設計者に報告し、承認を得ること。
- ・柱一梁仕口内の帯筋 2階以上の柱一梁仕口の帯筋は下階柱の帯筋と同径・同材質で外周のみとし、感覚は@100とする。 柱一基礎梁仕口部の帯筋は1階柱の帯筋と同径・同材質で外周のみとし、間隔は@125とする。 仕口範囲は桁行方向の梁のみ考慮する。



名称	新高南住宅1号館建設工事	図面番号	令和2年8月
図面名称	柱リスト(2)	製図	令和2年8月
標準図番号	H17-022-023-構造	図面番号	No.216 (143枚の内)
大阪市都市整備局		株式会社真鍋建築設計事務所	
住宅部建設課 (建設設計グループ)			

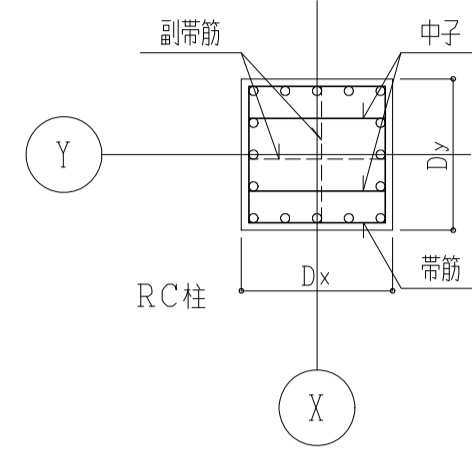
柱リスト(2) 1/50

特記なき限り フープ □-D13-@100 S記号はKSS785同等以上とする。

符号	C11	C12	C13	
7	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
6	断面			
	B x D	1000 x 700	1000 x 700	1000 x 700
	主筋	10-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
5	断面			
	B x D	1000 x 700	1000 x 700	1000 x 700
	主筋	10-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
4	断面			
	B x D	1000 x 700	1000 x 700	1000 x 700
	主筋	10-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @90	目 - D13 @100	目 - D13 @100
3	断面			
	B x D	1000 x 800	1000 x 800	1000 x 800
	主筋	10-D29 + 4-D19	10-D29 + 4-D19	10-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @85	目 - S13 @100	目 - S13 @100
2	断面			
	B x D	1000 x 800	1000 x 800	1000 x 800
	主筋	14-D29 + 4-D19	14-D29 + 4-D19	14-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @85	目 - S13 @100	目 - S13 @100
1	断面			
	B x D	1000 x 800	1000 x 800	1000 x 800
	主筋	14-D29 + 4-D19	14-D29 + 4-D19	16-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @85	目 - S13 @100	目 - S13 @100

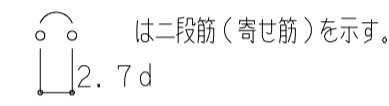
符号	C11	C12	C13	
12	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19
	帯筋	□ - D13 @100	□ - D13 @100	□ - D13 @100
11	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19
	帯筋	目 - D13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
10	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19
	帯筋	目 - D13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
9	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19	8-D25 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100
8	断面			
	B x D	1000 x 600	1000 x 600	1000 x 600
	主筋	10-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19	8-D29 + 4-D19
	帯筋	目 - S13 @100	目 - D13 @100	目 - D13 @100

共通事項

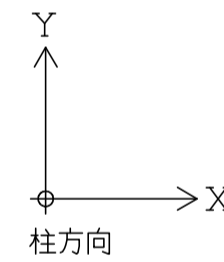


註)特記なき限り下記による。

- ・破線 は副帯筋を示し、D10-@600とする。但し、1階~2階の柱はD10-@200とする。
- ・鉄筋 D16以下 SD295A D19~D25 SD345 D29 SD390



- ・帯筋は中子共、溶接委閉型とする。但し、P1、P21は除く。
- ・帯筋は中子共、D13はSD295Aとする。S13は高強度せん断補強筋KSS785同等以上とする。なお、同両品とする場合には監督員および設計者に報告し、承認を得ること。
- ・柱-梁仕口内の帯筋
 - ・2階以上の柱-梁仕口の帯筋は下階柱の帯筋と同径・同材質で外周のみとし、感覚は@100とする。
 - ・柱-基礎梁仕口部の帯筋は1階柱の帯筋と同径・同材質で外周のみとし、間隔は@125とする。
 - ・仕口範囲は桁方向の梁のみ考慮する。

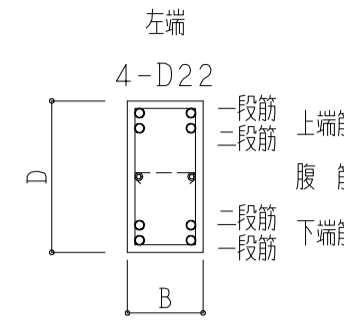


名称	新高南住宅1号館建設工事		原寸図面付
図面名称	柱リスト(2)	製図	令和2年8月
標準図番号	H17-022-023-構造	図面番号	No.216 (143枚の内)
大阪市都市整備局		株式会社真鍋建築設計事務所	
住宅部建設課 (建設設計グループ)			

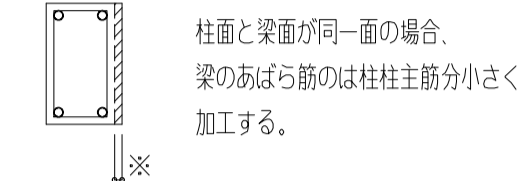
梁リスト (2) 1/50 特記なき限り 巾止め D10-@1000以下とする。 S記号はKSS785同等以上とする。

R	符号	G1		G1A			G2		G3			G4	G4A	G4B	
		両端	中央	Y2端	中央	Y3端	両端	中央	Y9端	中央	Y10端	全断面	全断面	両端	中央
R	断面														
	B x D	400 x 750		400 x 750			400 x 750		400 x 750			300 x 600		450 x 800	
	上端筋	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22		6 - D22	4 - D22
	下端筋	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22		4 - D22	6 - D22
	あばら筋	□ -D13-@200		□ -D13-@200			□ -D13-@200		□ -D13-@200			□ -D13-@200		□ -D13-@200	
腹筋	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10		
備考															
14	断面														
	B x D	450 x 750		450 x 750			450 x 750		450 x 750			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	7 - D22	5 - D22	5 - D22	5 - D22	7 - D22	7 - D22	5 - D22	7 - D22	5 - D22	7 - D22	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	6 - D22	5 - D22	5 - D22	5 - D22	6 - D22	6 - D22	5 - D22	6 - D22	5 - D22	6 - D22	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
腹筋	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
備考															
13	断面														
	B x D	500 x 750		500 x 750			500 x 750		500 x 750			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	8 - D25	5 - D25	7 - D25	5 - D25	8 - D25	8 - D25	5 - D25	8 - D25	5 - D25	7 - D25	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	7 - D25	5 - D25	5 - D25	5 - D25	7 - D25	7 - D25	5 - D25	7 - D25	5 - D25	6 - D25	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
腹筋	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
備考															
12	断面														
	B x D	550 x 800		550 x 800			550 x 800		550 x 800			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	9 - D25	5 - D25	7 - D25	5 - D25	9 - D25	9 - D25	5 - D25	9 - D25	5 - D25	8 - D25	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	8 - D25	5 - D25	6 - D25	5 - D25	8 - D25	8 - D25	5 - D25	8 - D25	5 - D25	7 - D25	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
腹筋	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
備考															
11	断面														
	B x D	600 x 800		600 x 800			600 x 800		600 x 800			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	11 - D25	6 - D25	9 - D25	6 - D25	11 - D25	11 - D25	6 - D25	11 - D25	6 - D25	10 - D25	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	11 - D25	6 - D25	8 - D25	6 - D25	11 - D25	10 - D25	6 - D25	9 - D25	6 - D25	8 - D25	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -D13-@100		□ -D13-@100			□ -D13-@100		□ -D13-@100			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
腹筋	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
備考															
10	断面														
	B x D	600 x 800		600 x 800			600 x 800		600 x 800			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	10 - D29	6 - D29	8 - D29	6 - D29	10 - D29	10 - D29	6 - D29	10 - D29	6 - D29	9 - D29	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	8 - D29	6 - D29	8 - D29	6 - D29	8 - D29	8 - D29	6 - D29	8 - D29	6 - D29	8 - D29	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -U13-@150		□ -S13-@150			□ -S13-@200		□ -S13-@200			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
腹筋	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
備考															
9	断面														
	B x D	650 x 800		650 x 800			650 x 800		650 x 800			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	11 - D29	6 - D29	10 - D29	6 - D29	11 - D29	11 - D29	6 - D29	11 - D29	6 - D29	10 - D29	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	9 - D29	6 - D29	8 - D29	6 - D29	9 - D29	9 - D29	6 - D29	9 - D29	6 - D29	8 - D29	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -U13-@150		□ -S13-@150			□ -S13-@150		□ -S13-@200			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
腹筋	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
備考															

共通事項



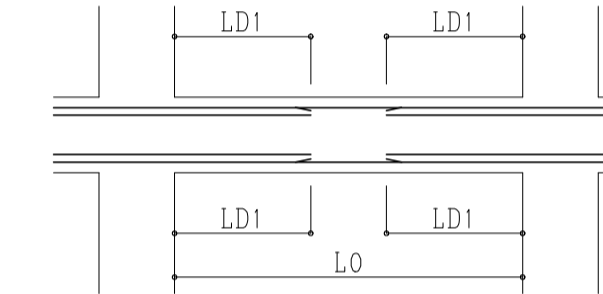
註)特記なき限り下記による。
・破線 は巾止めを示し、D10-@1,000とする。



・鉄筋
D16以下 SD295A
D19-D25 SD345
D29 SD390

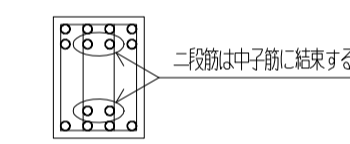
S13は高強度せん断補強筋KSS785同等以上とする。
なお、同等品とする場合には監督員および設計者に報告し、承認を得ること。

・鉄筋のカットオフ長さ



上端筋: LD=L0/4+15d
下端筋: LD=L0/4+15d

・外端部二筋(備考欄に*表示)
リストの備考欄に特記の外端部の二筋は、中子筋に結束すること。

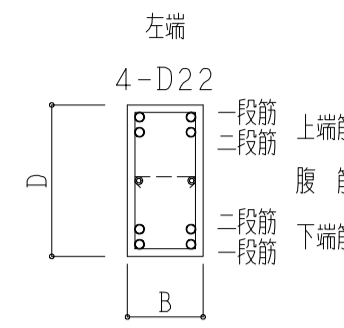


名称	新高南住宅1号館建設工事	図面名称	梁リスト (2)	製 図	令和 2年 8月
標準図番号	H17-022-025-構造	図面番号	No. 218	(14枚の内)	
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)			株式会社真鍋建築設計事務所		

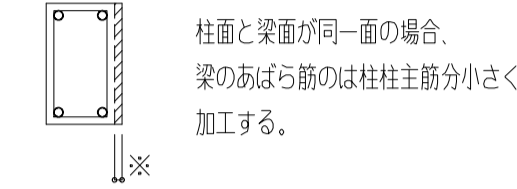
梁リスト (2) 1/50 特記なき限り 巾止め D10-@1000以下とする。 S記号はKSS785同等以上とする。

R	符号	G1		G1A			G2		G3			G4	G4A	G4B	
		両端	中央	Y2端	中央	Y3端	両端	中央	Y9端	中央	Y10端	全断面	全断面	両端	中央
R	断面														
	B x D	400 x 750		400 x 750			400 x 750		400 x 750			300 x 600	400 x 600	450 x 800	
	上端筋	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	6 - D22	4 - D22
	下端筋	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	6 - D22
	あばら筋	□ -D13-@200		□ -D13-@200			□ -D13-@200		□ -D13-@200			□ -D13-@200	□ -D13-@200	□ -D13-@200	
備考	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10	2 - D10		
14	断面														
	B x D	450 x 750		450 x 750			450 x 750		450 x 750			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	7 - D22	5 - D22	5 - D22	5 - D22	7 - D22	7 - D22	5 - D22	7 - D22	5 - D22	7 - D22	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	6 - D22	5 - D22	5 - D22	5 - D22	6 - D22	6 - D22	5 - D22	6 - D22	5 - D22	6 - D22	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
備考	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
13	断面														
	B x D	500 x 750		500 x 750			500 x 750		500 x 750			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	8 - D25	5 - D25	7 - D25	5 - D25	8 - D25	8 - D25	5 - D25	8 - D25	5 - D25	7 - D25	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	7 - D25	5 - D25	5 - D25	5 - D25	7 - D25	7 - D25	5 - D25	7 - D25	5 - D25	6 - D25	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
備考	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
12	断面														
	B x D	550 x 800		550 x 800			550 x 800		550 x 800			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	9 - D25	5 - D25	7 - D25	5 - D25	9 - D25	9 - D25	5 - D25	9 - D25	5 - D25	8 - D25	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	8 - D25	5 - D25	6 - D25	5 - D25	8 - D25	8 - D25	5 - D25	8 - D25	5 - D25	7 - D25	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@150		□ -D13-@150			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
備考	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
11	断面														
	B x D	600 x 800		600 x 800			600 x 800		600 x 800			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	11 - D25	6 - D25	9 - D25	6 - D25	11 - D25	11 - D25	6 - D25	11 - D25	6 - D25	10 - D25	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	11 - D25	6 - D25	8 - D25	6 - D25	11 - D25	10 - D25	6 - D25	9 - D25	6 - D25	8 - D25	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -D13-@100		□ -D13-@100			□ -D13-@100		□ -D13-@100			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
備考	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
10	断面														
	B x D	600 x 800		600 x 800			600 x 800		600 x 800			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	10 - D29	6 - D29	8 - D29	6 - D29	10 - D29	10 - D29	6 - D29	10 - D29	6 - D29	9 - D29	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	8 - D29	6 - D29	8 - D29	6 - D29	8 - D29	8 - D29	6 - D29	8 - D29	6 - D29	8 - D29	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -U13-@150		□ -S13-@150			□ -S13-@200		□ -S13-@200			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
備考	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			
9	断面														
	B x D	650 x 800		650 x 800			650 x 800		650 x 800			300 x 600	400 x 600		
	上端筋	11 - D29	6 - D29	10 - D29	6 - D29	11 - D29	11 - D29	6 - D29	11 - D29	6 - D29	10 - D29	3 - D22	3 - D22		
	下端筋	9 - D29	6 - D29	8 - D29	6 - D29	9 - D29	9 - D29	6 - D29	9 - D29	6 - D29	8 - D29	3 - D22	3 - D22		
	あばら筋	□ -U13-@150		□ -S13-@150			□ -S13-@150		□ -S13-@200			□ -D13-@200	□ -D13-@200		
備考	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10	2 - D10			

共通事項



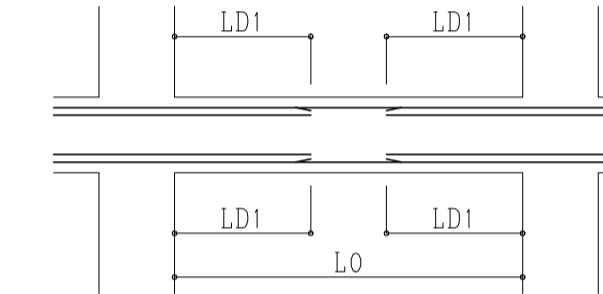
註)特記なき限り下記による。
・破線 は巾止めを示し、D10-@1,000とする。



鉄筋
D16以下 SD295A
D19-D25 SD345
D29 SD390

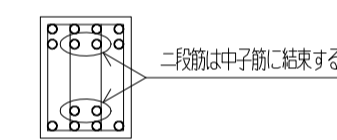
S13は高強度せん断補強筋KSS785同等以上とする。
なお、同等品とする場合には監督員および設計者に報告し、承認を得ること。

鉄筋のカットオフ長さ

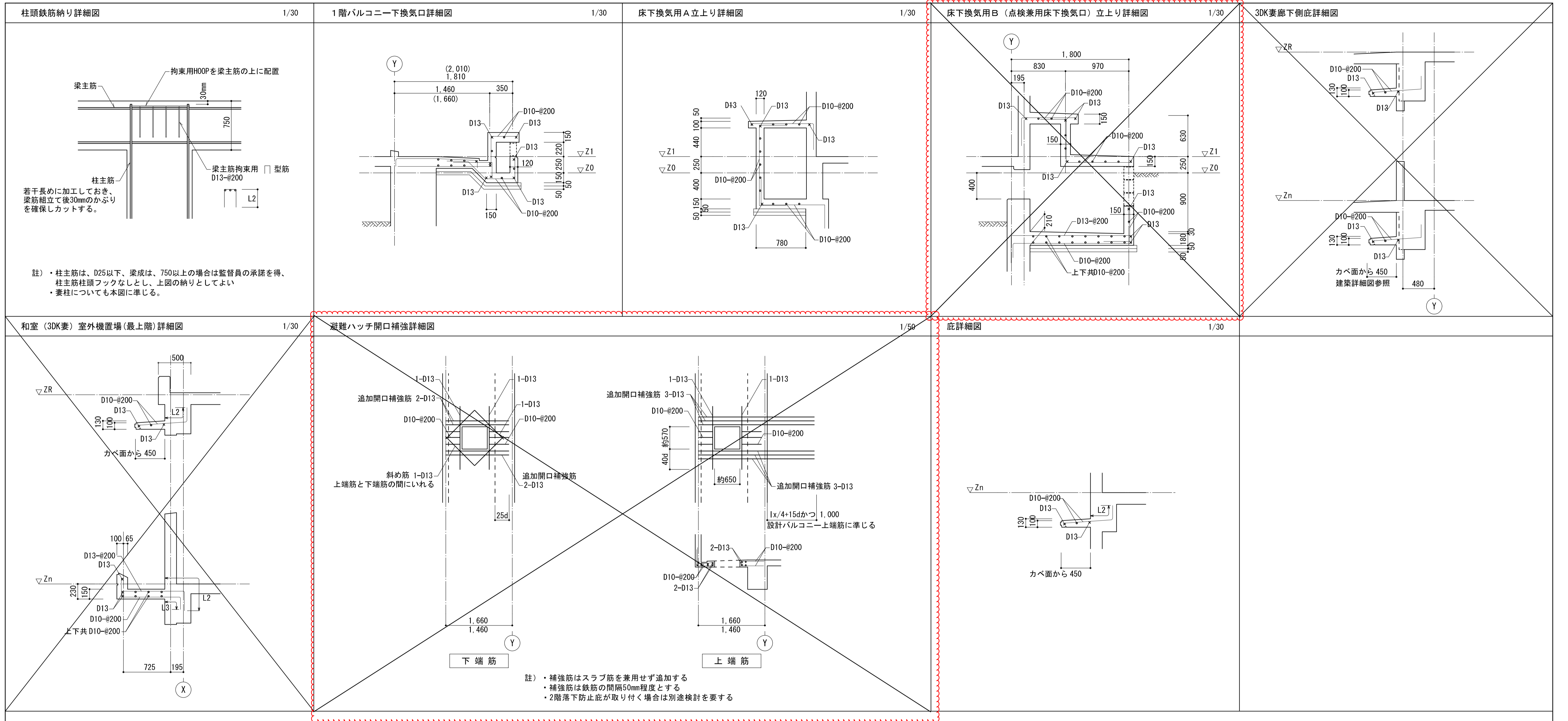


上端筋: LD=L0/4+15d
下端筋: LD=L0/4+15d

・外端部二筋(備考欄に*表示)
リストの備考欄に特記の外端部の二筋は、中子筋に結束すること。

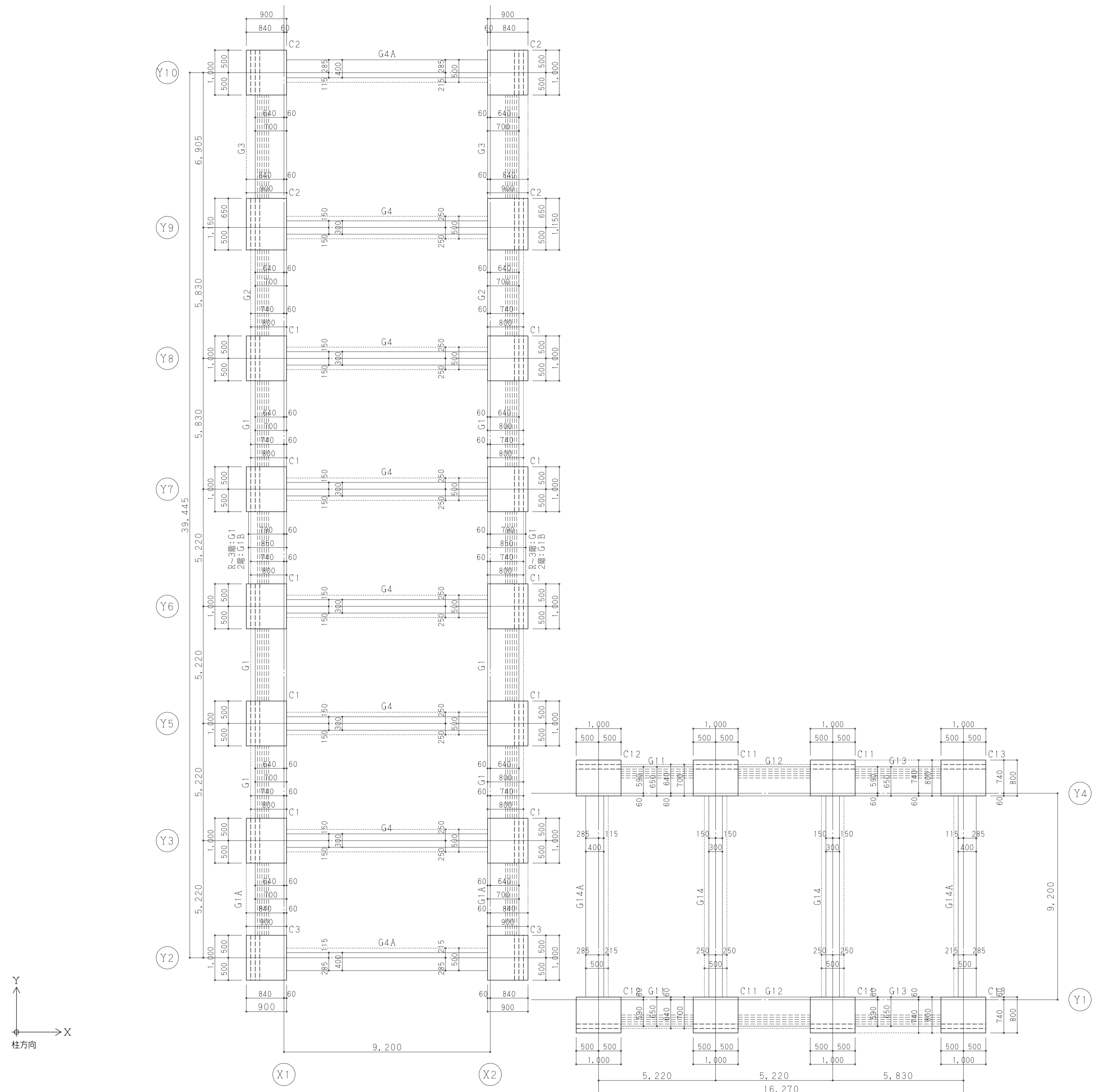


名称	新高南住宅1号館建設工事	図面番号	令和2年8月
図面名称	梁リスト (2)	図面番号	No.218 (14枚の内)
標準図番号	H17-H22-H23-構造	図面番号	No.218 (14枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社真鍋建築設計事務所	



修正日付		修正内容		修正日付		修正内容		修正日付		修正内容	
2006. 3		MB内基礎レベル。		2011. 3		定着見直し					
2007. 3		3DK妻廊下側底詳細図。		2017. 3		文字の大きさを調整					
2011. 3		各部詳細寸法見直し									

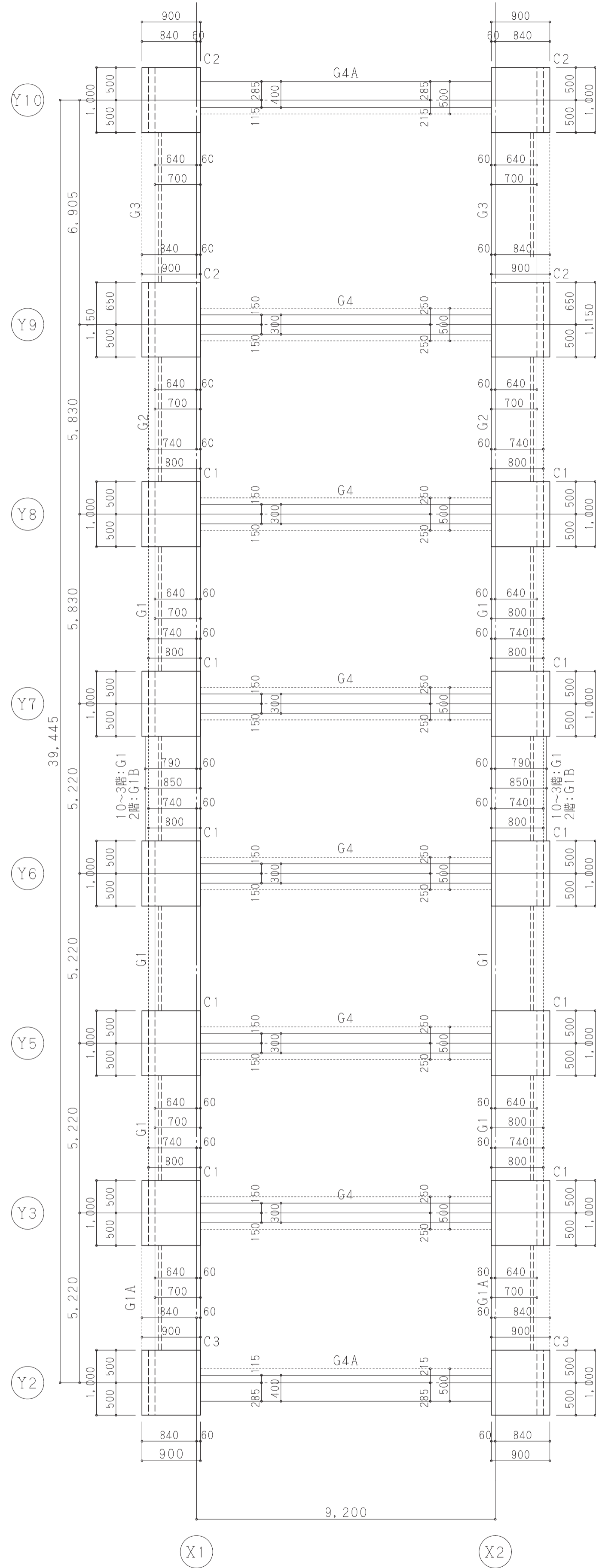
名称	新高南住宅1号館建設工事			図面番号	No. 224 (245枚の内)	
図面名称	補強詳細図	製図	令和 2年 8月	図面番号	No. 224 (245枚の内)	
標準図番号	H17-H22-H29 構造	309		図面番号	No. 224 (245枚の内)	
大阪府都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)				株式会社真鍋建築設計事務所		



1階柱・梁芯伏図 1/200

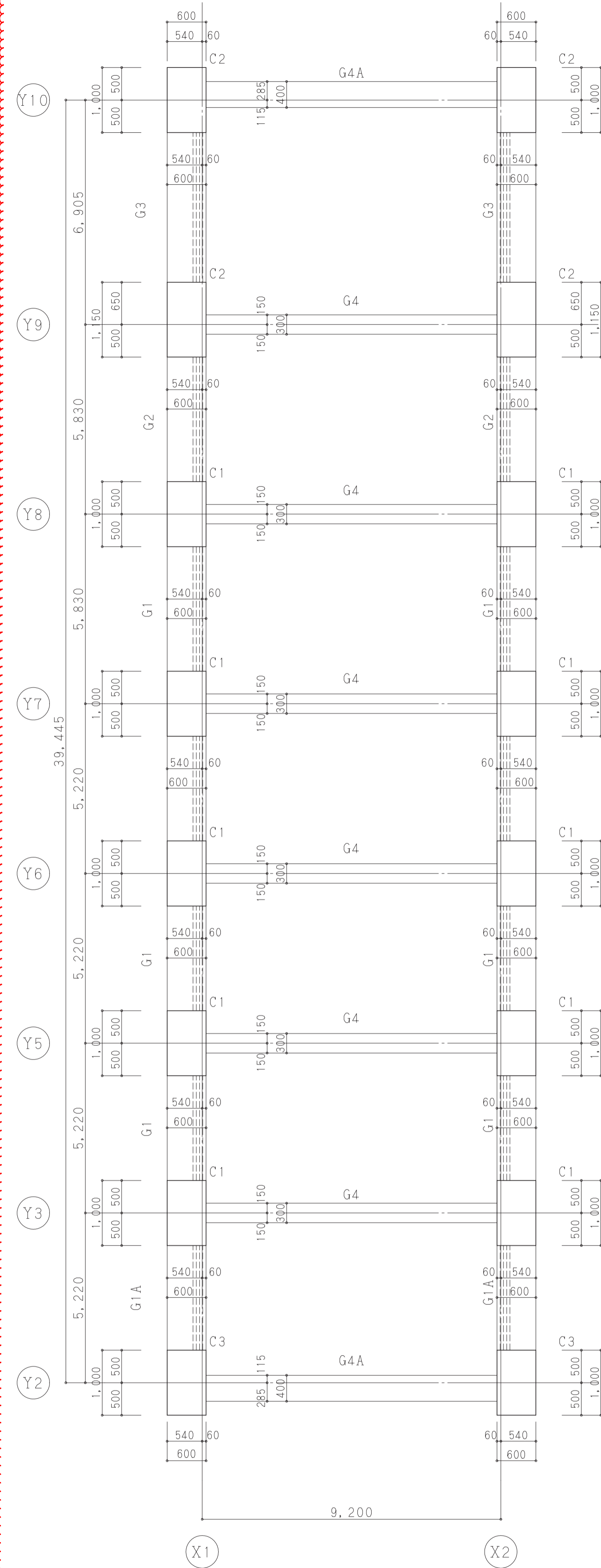
特記なき限り
 ・破線は上階の柱、梁を示す。
 ・点線は基礎梁を示す。

名称	新高南住宅1号館建設工事			原図番付	1/1
図面名称	柱梁芯伏図	製図	令和2年8月		
標準図番号	H17-H22-223-構造	図面番号	No.228	(14枚の内)	
大阪市都市整備局			株式会社真鍋建築設計事務所		
住宅部建設課 (建設設計グループ)					



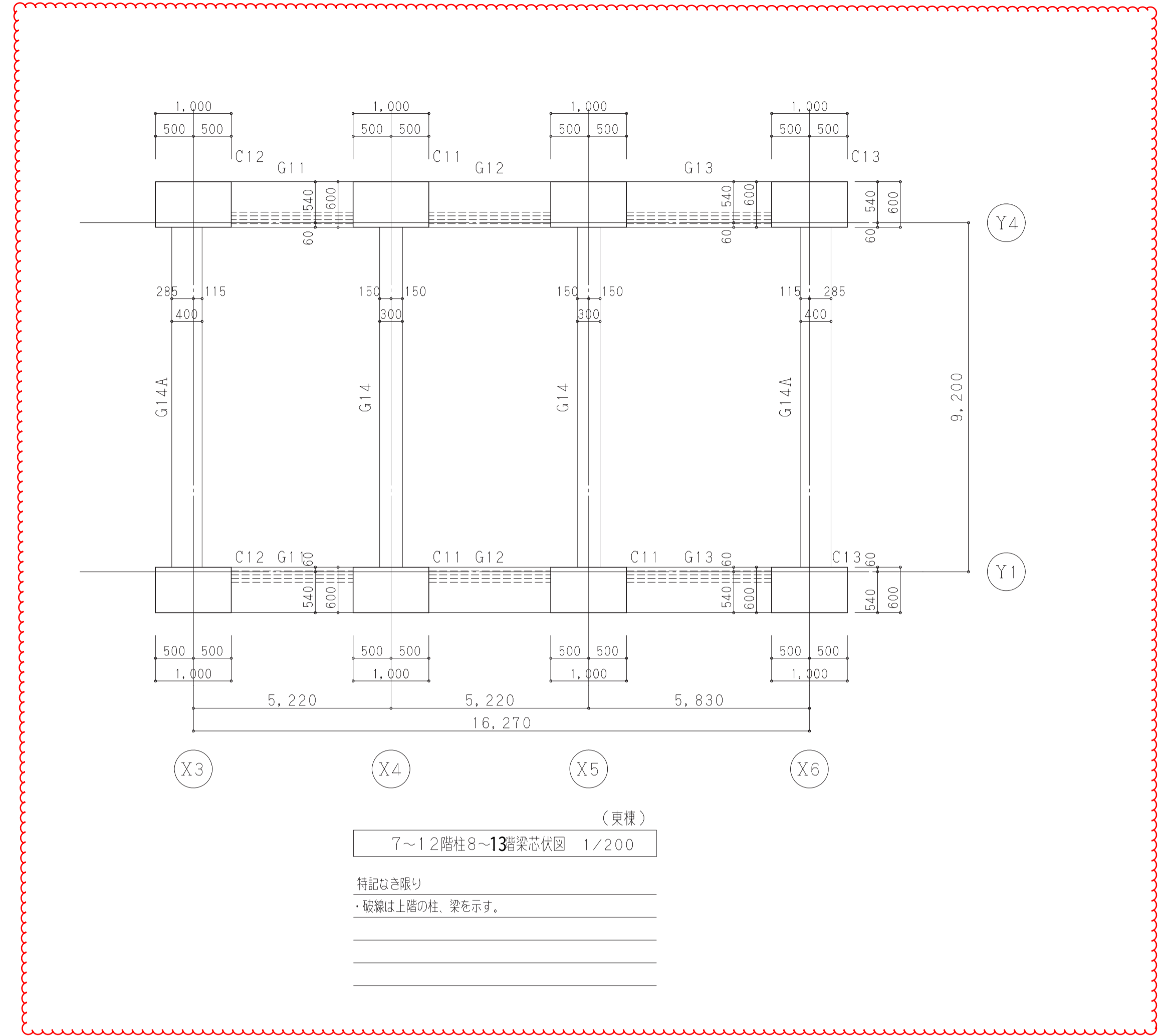
(西棟)
1~9階柱2~10階梁芯伏図 1/200

特記なき限り
・破線は上階の柱、梁を示す。
・点線は基礎梁を示す。



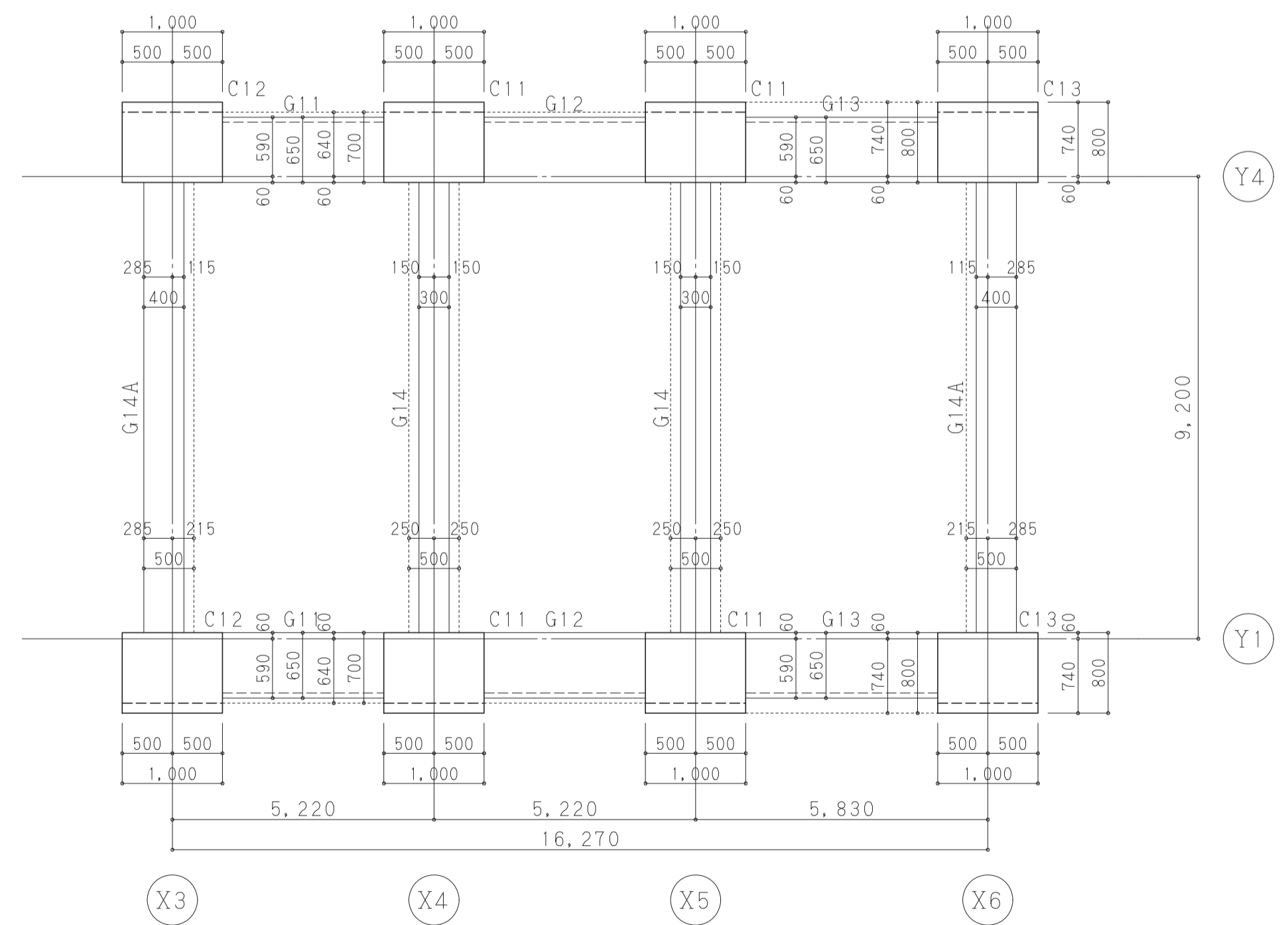
(西棟)
10~14階柱11~R階梁芯伏図 1/200

特記なき限り
・破線は上階の柱、梁を示す。



(東棟)
7~12階柱8~13階梁芯伏図 1/200

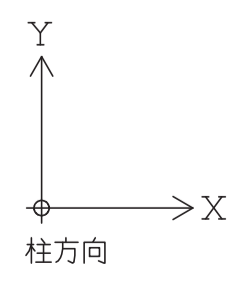
特記なき限り
・破線は上階の柱、梁を示す。

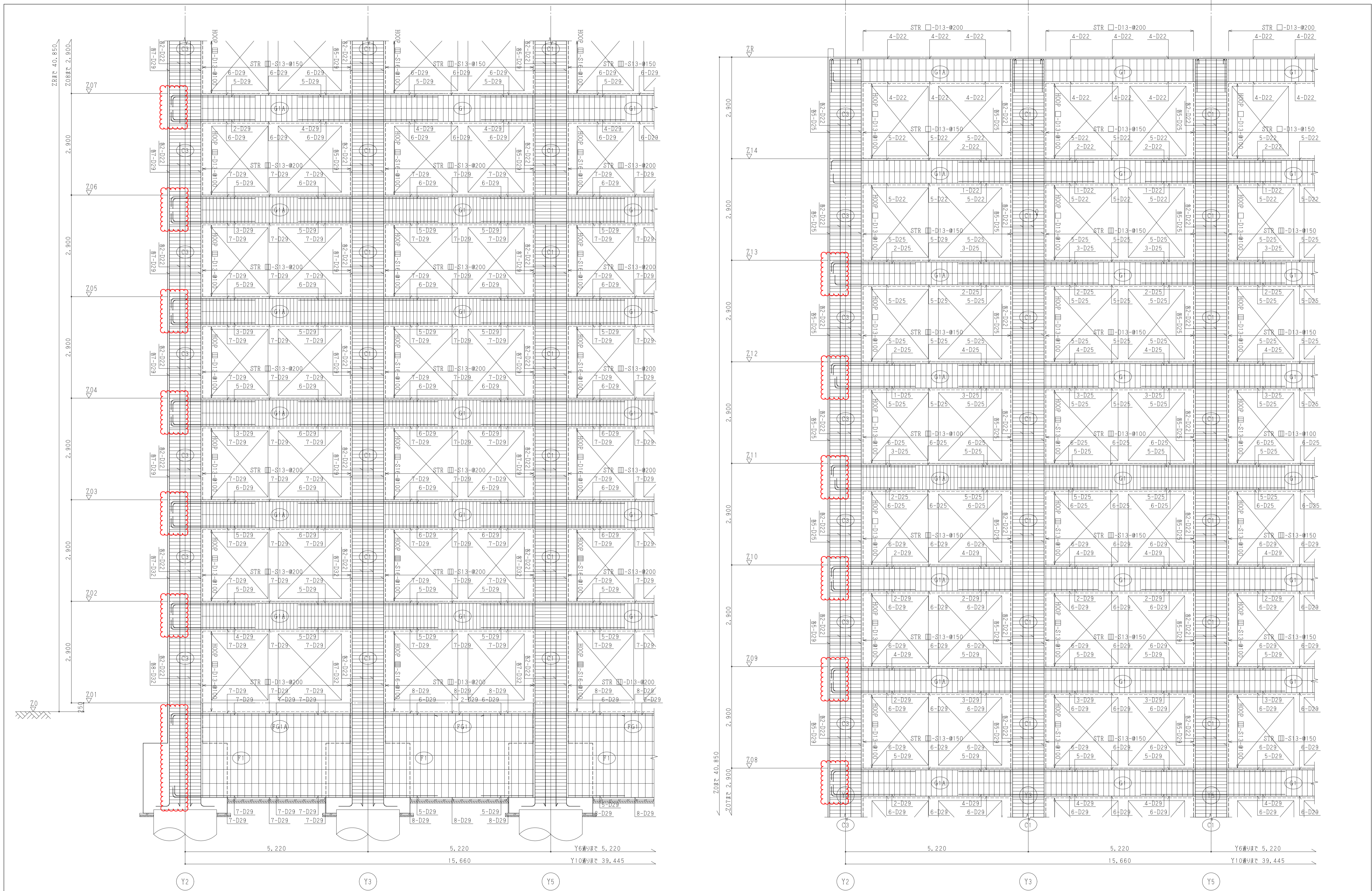


(東棟)
1~6階柱2~7階梁芯伏図 1/200

特記なき限り
・破線は上階の柱、梁を示す。
・点線は基礎梁を示す。

名称	新高南住宅1号館建設工事	製図	令和2年8月
図面名称	柱梁芯伏図	製図	令和2年8月
標準図書番号	H17-H22-H23 構造	図面番号	No.228 (1/3枚の内)
大阪府都市整備局		株式会社真編建築設計事務所	
住宅部建設課 (建設設計グループ)			





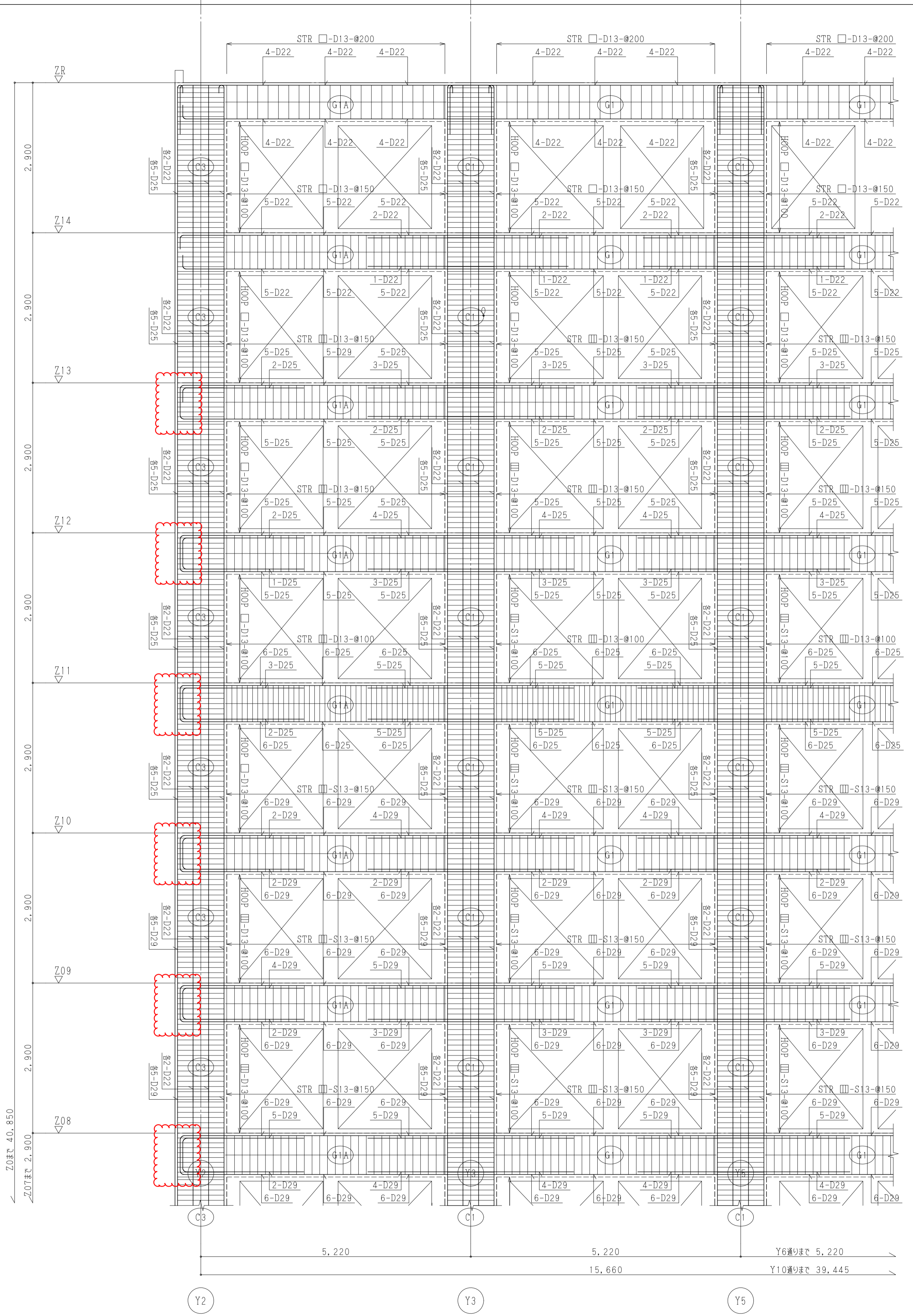
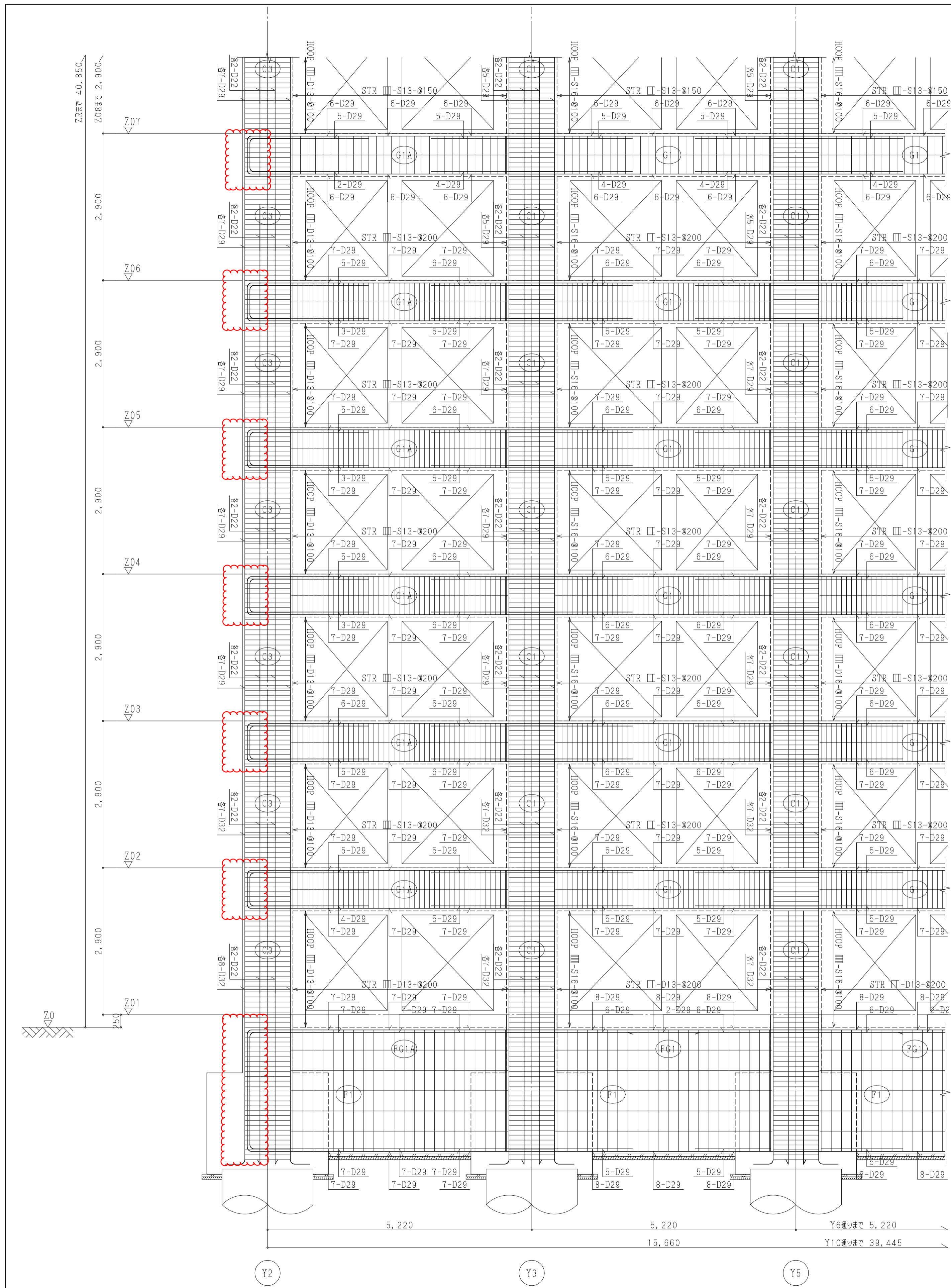
X1通り 架構配筋図 1/50

特記は省略

- ・壁はW12とする。
- ・2階以上の柱-梁仕口部筋は下階の帯筋と同径・同材質とする。
- ・外周のみとし、間隔は $\phi 100$ とする。

- ・柱-基礎梁仕口部の帯筋は1階柱の帯筋と同径、同材質で外周部のみとし、間隔は $\phi 125$ とする。但し、C2は $\phi 100$ とする。
- ・鉄筋の定着についてはRC標準図に従う。

名称	新高南住宅1号館建設工事		図面番号	製 図	令和 2年 8月
図面名称	X1通り 架構配筋図		製 図	令 和	2 年 8 月
標準図番号	H17-H22-H23-構造	構造	図面番号	No. 229 (14枚の内)	
大阪府都市整備局			株式会社真鍋建築設計事務所		
住宅部建設課 (建設設計グループ)					



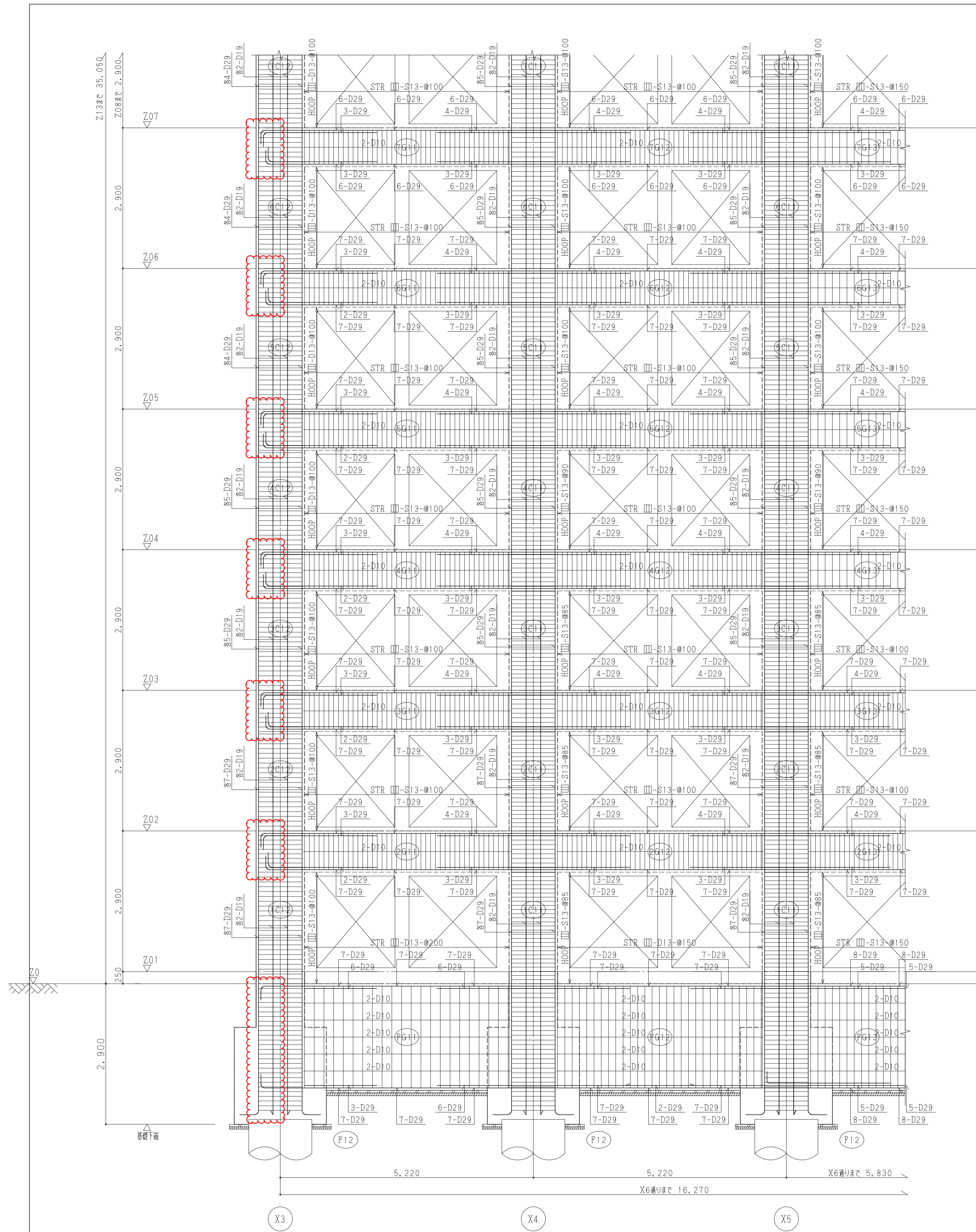
X1通り 架構配筋図 1/50

特記は省略

- ・壁はW12とする。
- ・2階以上の柱-梁仕口部筋は下階の帯筋と同径・同材質とする。
- ・外周のみとし、間隔はφ100とする。

- ・柱-基礎梁仕口部の帯筋は1階柱の帯筋と同径、同材質で外周部のみとし、間隔はφ125とする。但し、C2はφ100とする。
- ・鉄筋の定着についてはRC標準図に従う。

名称	新高南住宅1号館建設工事		図面番号	製図	令和2年8月
図面名称	X1通り架構配筋図		製図	令和2年8月	
標準図番号	H17-H22-H23-構造	構造	図面番号	No.229 (14枚の内)	
大阪市都市整備局			株式会社真鍋建築設計事務所		
住宅部建設課 (建設設計グループ)					

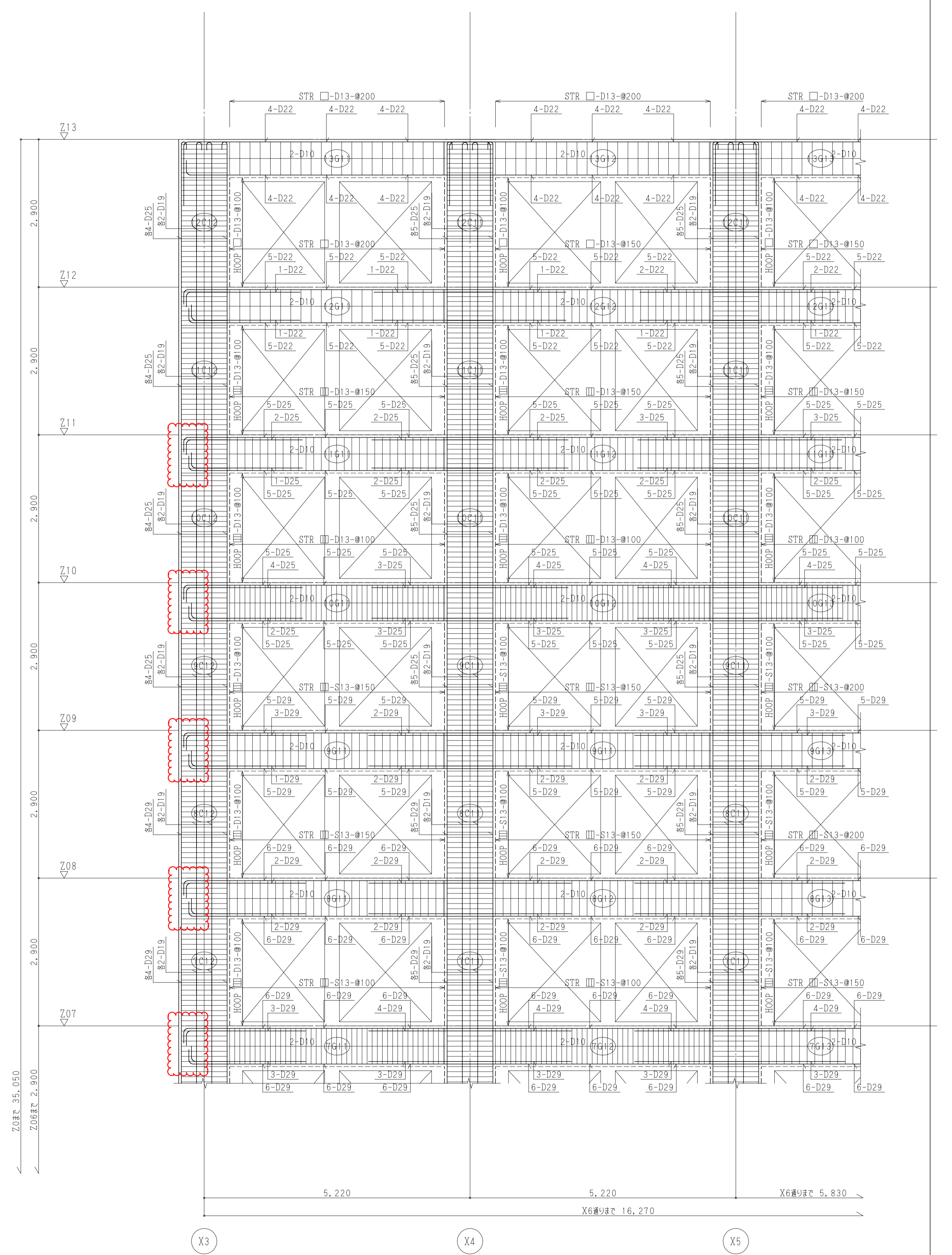


Y1通り 架構配筋図 1/50

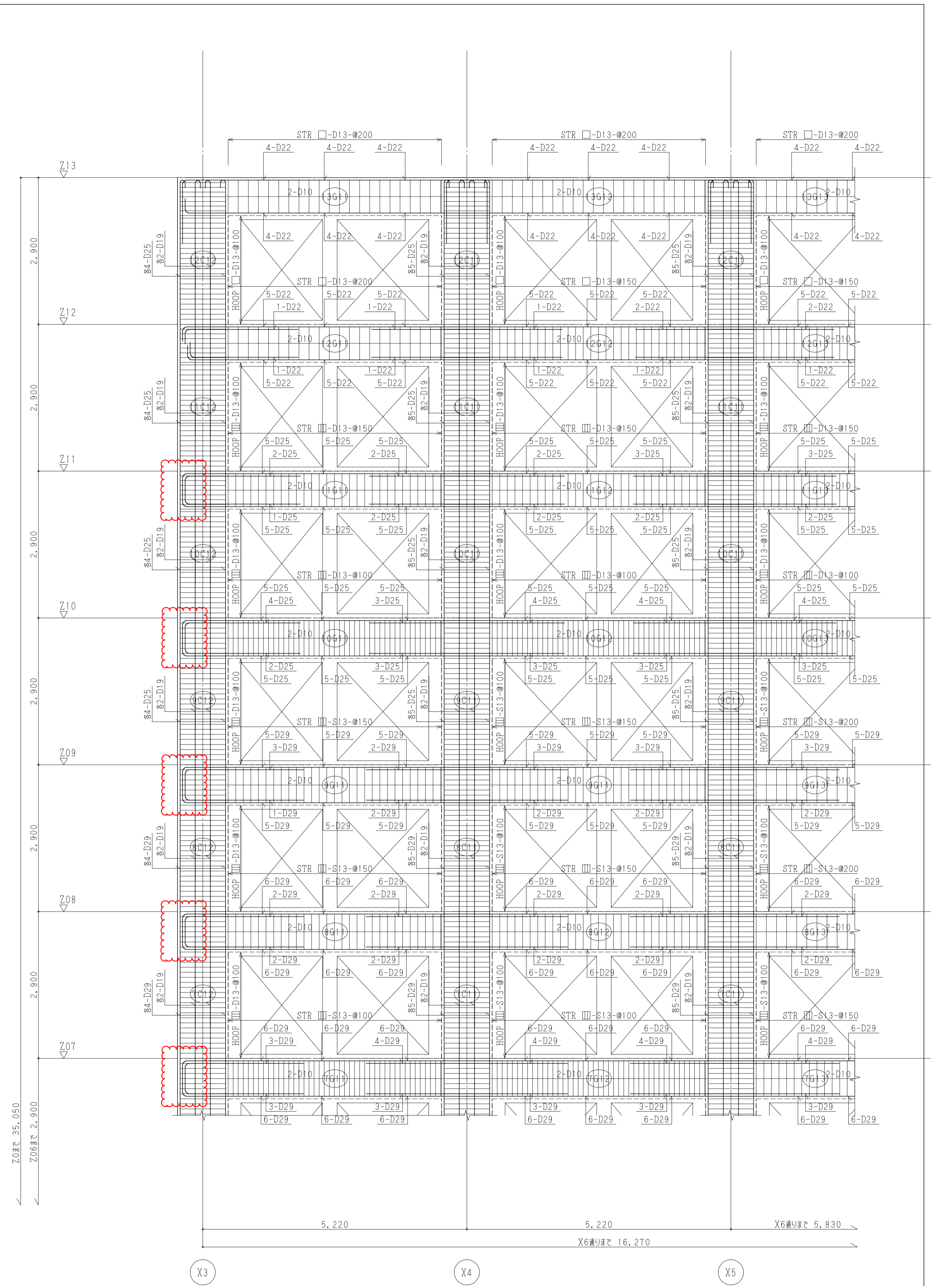
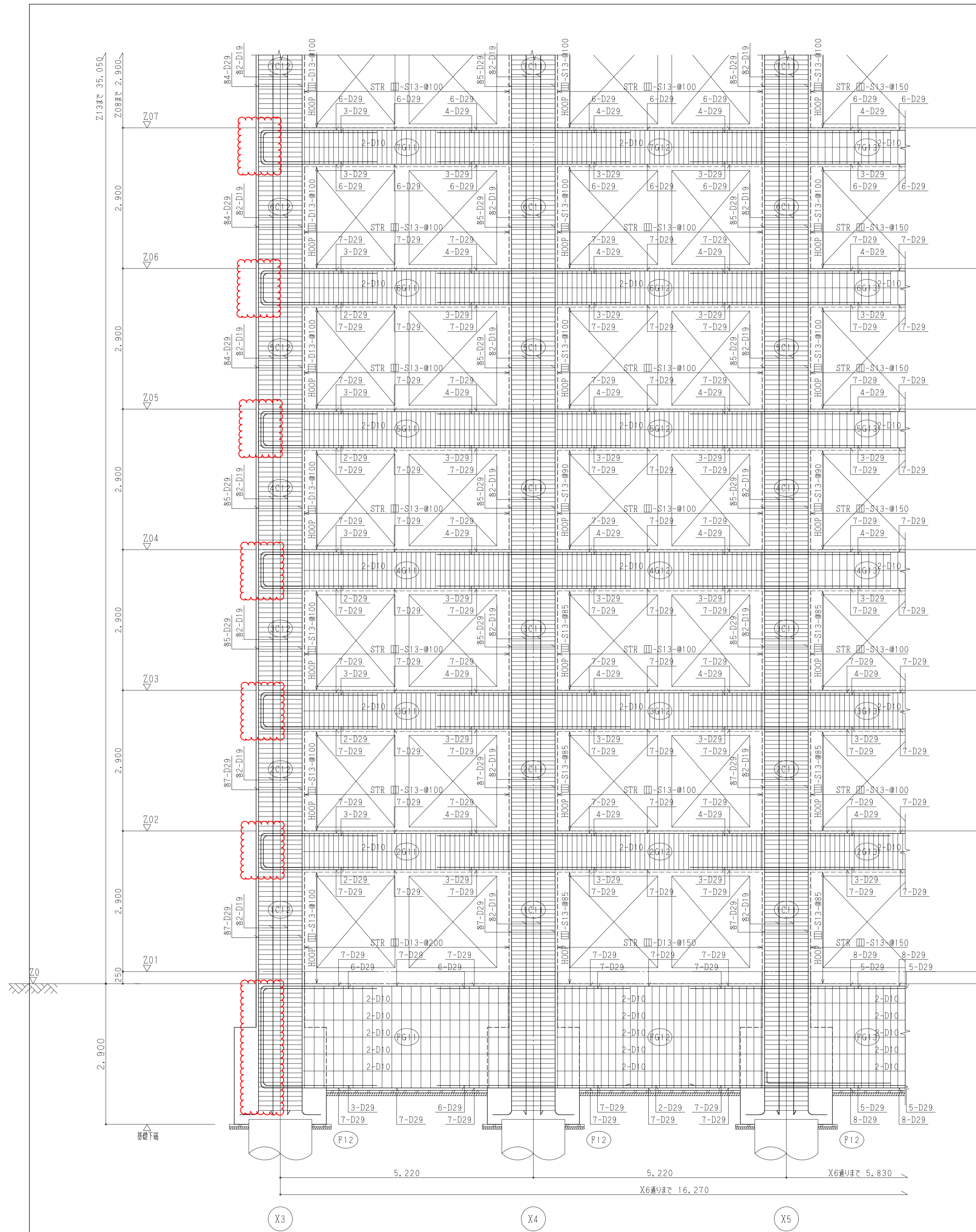
特記は省略

- ・壁はW12とする。
- ・2階以上の柱-梁仕口部筋は下階の帯筋と同径・同材質とする。
- ・外周のみとし、間隔は@100とする。

- ・柱-基礎梁仕口部の帯筋は1階柱の帯筋と同径、同材質で外周部のみとし、間隔は@125とする。但し、C2は@100とする。
- ・鉄筋の定着についてはRC標準図に従う。



名称	新高南住宅1号館建設工事		図面番号	令和 2年 8月
図面名称	Y1通り 架構配筋図	製 図	№. 230	(1/3枚の内)
標準図番号	H17-422-223-構造	図面番号	№. 230 (1/3枚の内)	
大坂市都市整備局		株式会社真鍋建築設計事務所		
住宅部建設課 (建設設計グループ)				



- 特記は省略
- ・壁はW12とする。
 - ・2階以上の柱-梁仕口部筋は下階の帯筋と同径・同材質とする。
 - ・鉄筋の定着についてはRC標準図に従う。
 - ・柱-基礎梁仕口部の帯筋は1階柱の帯筋と同径、同材質で外周部のみとし、間隔は $\phi 125$ とする。但し、C2は $\phi 100$ とする。

名称	新高南住宅1号館建設工事	図面番号	令和 2年 8月
図面名称	Y1通り 架構配筋図	製図	№. 230 (14枚の内)
標準図番号	H17-422-223 構造	図面番号	№. 230 (14枚の内)
大坂市都市整備局		株式会社真鍋建築設計事務所	
住宅部建設課 (建設設計グループ)			

・杭工法

場所打ちコンクリート杭 アースドリル拡底工法

杭径(mm)	杭施工長(m)	杭実長(m)	本数
Φ1,800～ Φ3,500	26.0	23.5	6
Φ1,800～ Φ3,300	26.0	23.5	10
Φ1,500～ Φ2,500	26.0	23.17	1
Φ1,500～ Φ2,000	26.0	23.5	2
Φ1,500～ Φ2,900	26.0	23.5	4
Φ1,300～ Φ2,700	26.0	23.5	4
Φ1,300～ Φ1,800	26.0	23.5	1
計			28

B . 附帯施設工事

一式

・集会所

鉄筋コンクリート造 平屋 A-2型 1 棟

・ごみ収集施設

鉄筋コンクリート造 平屋 C-140型 1 棟

・自転車置場

鉄骨造 平屋 G 型 6 スパン 1 棟

鉄骨造 平屋 G 型 5 スパン 2 棟

鉄骨造 平屋 G 型 4 スパン 1 棟

鉄骨造 平屋 G 型 2 スパン 1 棟

C . 屋外工事

一式

・平面式駐車場

19 台

・その他屋外工事

D . 撤去工事

一式

・屋外撤去

構 造 概 要

階 数	地上 14 階建
軒 高	建築地盤面から 40.85 m
最高高さ	建築地盤面から 42.24 m
基 礎	鉄筋コンクリート造 場所打ちコンクリート杭
間仕切り	鉄筋コンクリート造及び木造
床	鉄筋コンクリート造

・杭工法

場所打ちコンクリート杭 アースドリル拡底工法

杭径(mm)	杭施工長(m)	杭実長(m)	本数
Φ1,800～ Φ3,500	26.0	23.4	6
Φ1,800～ Φ3,300	26.0	23.4	10
Φ1,500～ Φ2,500	26.0	23.17	1
Φ1,500～ Φ2,000	26.0	23.4	2
Φ1,500～ Φ2,900	26.0	23.4	4
Φ1,300～ Φ2,700	26.0	23.4	4
Φ1,300～ Φ1,800	26.0	23.4	1
計			28

B . 附帯施設工事

一式

・集会所

鉄筋コンクリート造 平屋 A-2型 1 棟

・ごみ収集施設

鉄筋コンクリート造 平屋 C-140型 1 棟

・自転車置場

鉄骨造 平屋 G 型 6 スパン 1 棟

鉄骨造 平屋 G 型 5 スパン 2 棟

鉄骨造 平屋 G 型 4 スパン 1 棟

鉄骨造 平屋 G 型 2 スパン 1 棟

C . 屋外工事

一式

・平面式駐車場

19 台

・その他屋外工事

D . 撤去工事

一式

・屋外撤去

構 造 概 要

階 数 地上 14 階建
 軒 高 建築地盤面から 40.85 m
 最高高さ 建築地盤面から 42.24 m
 基 礎 鉄筋コンクリート造 場所打ちコンクリート杭
 間仕切り 鉄筋コンクリート造及び木造
 床 鉄筋コンクリート造

直接工事費 細目別内訳

主体工事		地業工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アースリル工法	P1520の施工費	2	本			
アースリル工法	P1529の施工費	4	本			
アースリル工法	P1327の施工費	4	本			
アースリル工法	P1318の施工費	1	本			
杭頭処理	場所打杭 φ1800 16本	1	式			
杭頭処理	場所打杭 φ1500 7本	1	式			
杭頭処理	場所打杭 φ1300 5本	1	式			
建設発生土運搬費	場外自由処分 積込費共	1,724	m3			
建設発生土処分費	場外自由処分(産業廃棄物)	1,724	m3			
計						

直接工事費 細目別内訳

主体工事		鉄筋工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
異形棒鋼	SD295A D10	164	kg			
異形棒鋼	SD295A D13	340	kg			
異形棒鋼	SD295A D16	32.5	t			
異形棒鋼	SD345 D19	37.7	t			
異形棒鋼	SD345 D22	61.9	t			
異形棒鋼	SD345 D25	35.5	t			
異形棒鋼	SD390 D29	158	t			
異形棒鋼	SD390 D32	14.8	t			
スクラップ 控除	金属くず(鉄)	▲22.7	t			
鉄筋工場加工組立	一般 細物 D10 RC造 運搬費共	157	t			
鉄筋工場加工組立	一般 細物 D13 RC造 運搬費共	315	t			
鉄筋工場加工組立	一般 大物 重ね RC造 運搬費共	24.1	t			
鉄筋工場加工組立	一般 大物 圧接 RC造 運搬費共	291	t			

直接工事費 細目別内訳

主体工事		地業工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アースリル工法	P1520の施工費	2	本			
アースリル工法	P1529の施工費	4	本			
アースリル工法	P1327の施工費	4	本			
アースリル工法	P1318の施工費	1	本			
杭頭処理	場所打杭 φ1800 16本	1	式			
杭頭処理	場所打杭 φ1500 7本	1	式			
杭頭処理	場所打杭 φ1300 5本	1	式			
建設発生土運搬費	場外自由処分 積込費共	1,724	m3			
建設発生土処分費	場外自由処分(産業廃棄物)	1,724	m3			
計						

直接工事費 細目別内訳

主体工事		鉄筋工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
異形棒鋼	SD295A D10	164	t			
異形棒鋼	SD295A D13	340	t			
異形棒鋼	SD295A D16	32.5	t			
異形棒鋼	SD345 D19	37.7	t			
異形棒鋼	SD345 D22	61.9	t			
異形棒鋼	SD345 D25	35.5	t			
異形棒鋼	SD390 D29	158	t			
異形棒鋼	SD390 D32	14.8	t			
スクラップ 控除	金属くず(鉄)	▲22.7	t			
鉄筋工場加工組立	一般 細物 D10 RC造 運搬費共	157	t			
鉄筋工場加工組立	一般 細物 D13 RC造 運搬費共	315	t			
鉄筋工場加工組立	一般 大物 重ね RC造 運搬費共	24.1	t			
鉄筋工場加工組立	一般 大物 圧接 RC造 運搬費共	291	t			